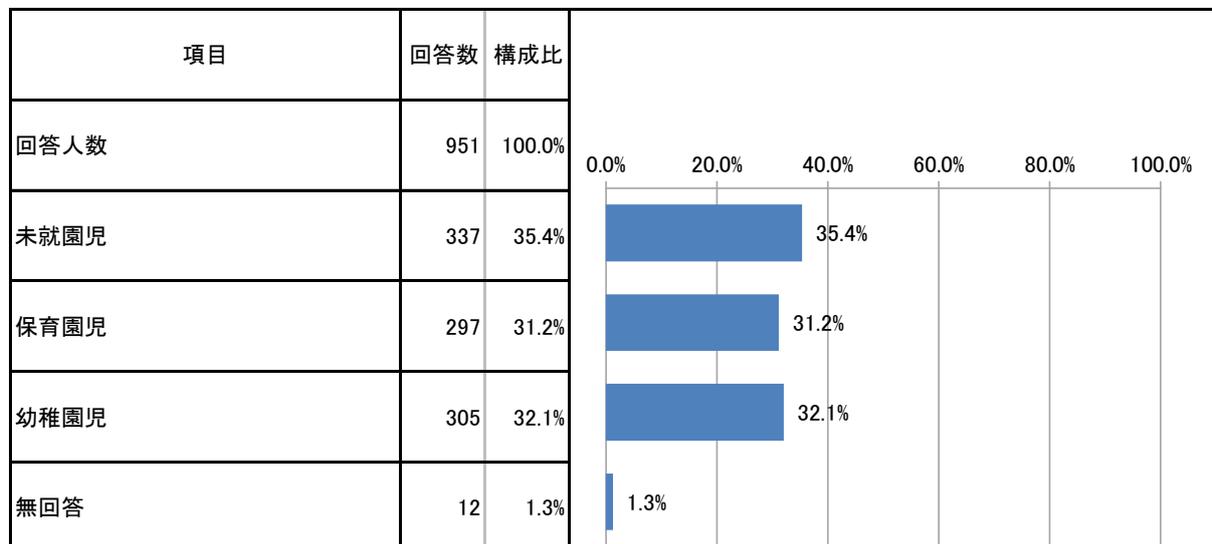


問1 対象のお子さんについてお聞きします。

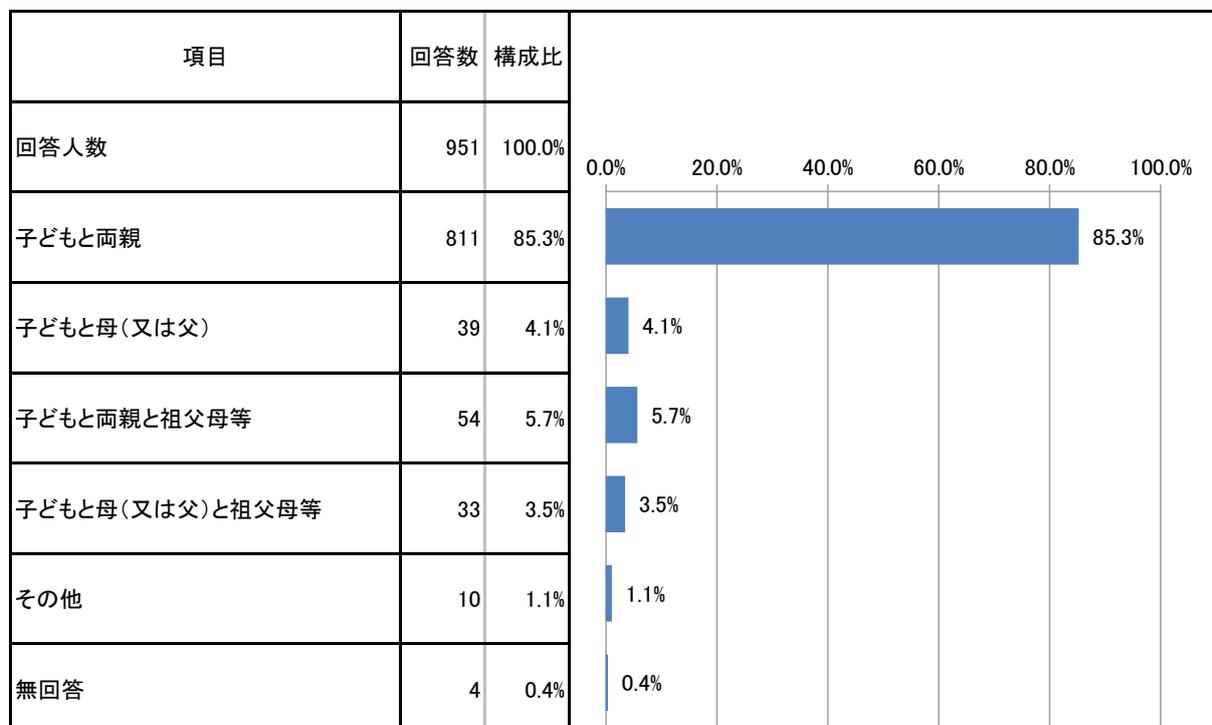
(2) 対象（封書の宛名）のお子さんの就園（平成26年10月1日現在）

就園状況については、「未就園児」が35.4%と最も高く、次いで「幼稚園児」が32.1%、「保育園児」が31.2%となっている。



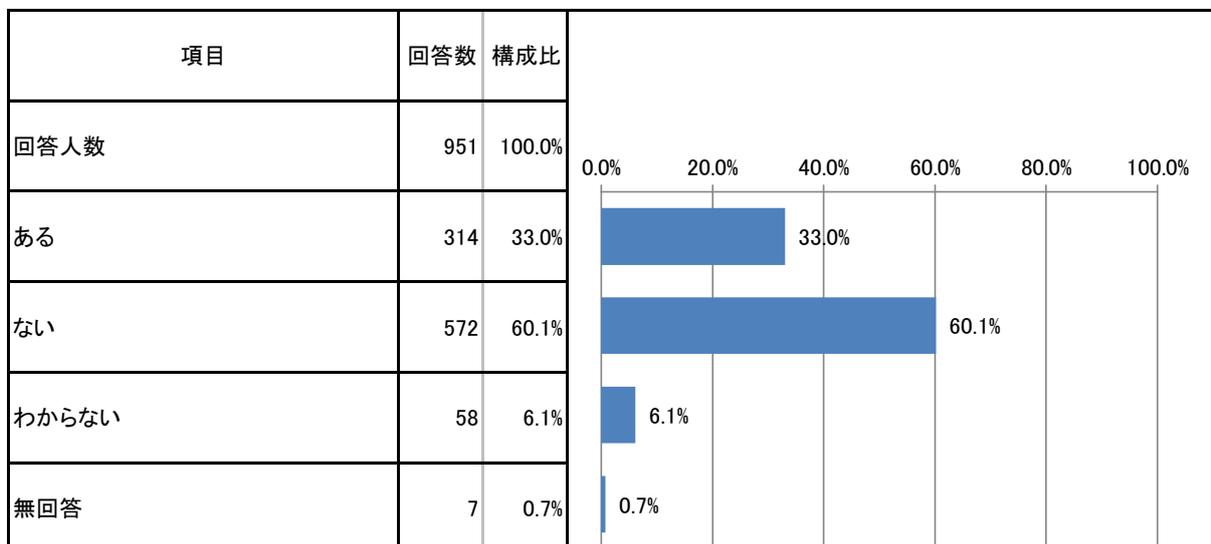
(3) 家族構成

家族構成については、「子どもと両親」が85.3%と最も高く、次いで「子どもと両親と祖父母等」が5.7%、「子どもと母（又は父）」が4.1%となっている。



問3 対象のお子さんは、この1年間（平成25年10月から平成26年9月まで）に交通安全教室（講習会などを含む）に参加したことがありますか。（ひとつに○）

この1年間の子どもの交通安全教室（講習会などを含む）参加状況については、「ない」が60.1%と最も高く、次いで「ある」が33.0%で、「わからない」は6.1%とほとんどない。



【属性別特徴】

年齢別では、0歳から3歳は「ない」が高く、4歳以降は「ある」が高くなっている。

就園状況別では、幼稚園児は「ある」が66.9%で、未就園児は「ない」が97.3%と高い割合を占めており、未就園児は、参加する機会が少ないことがわかる。

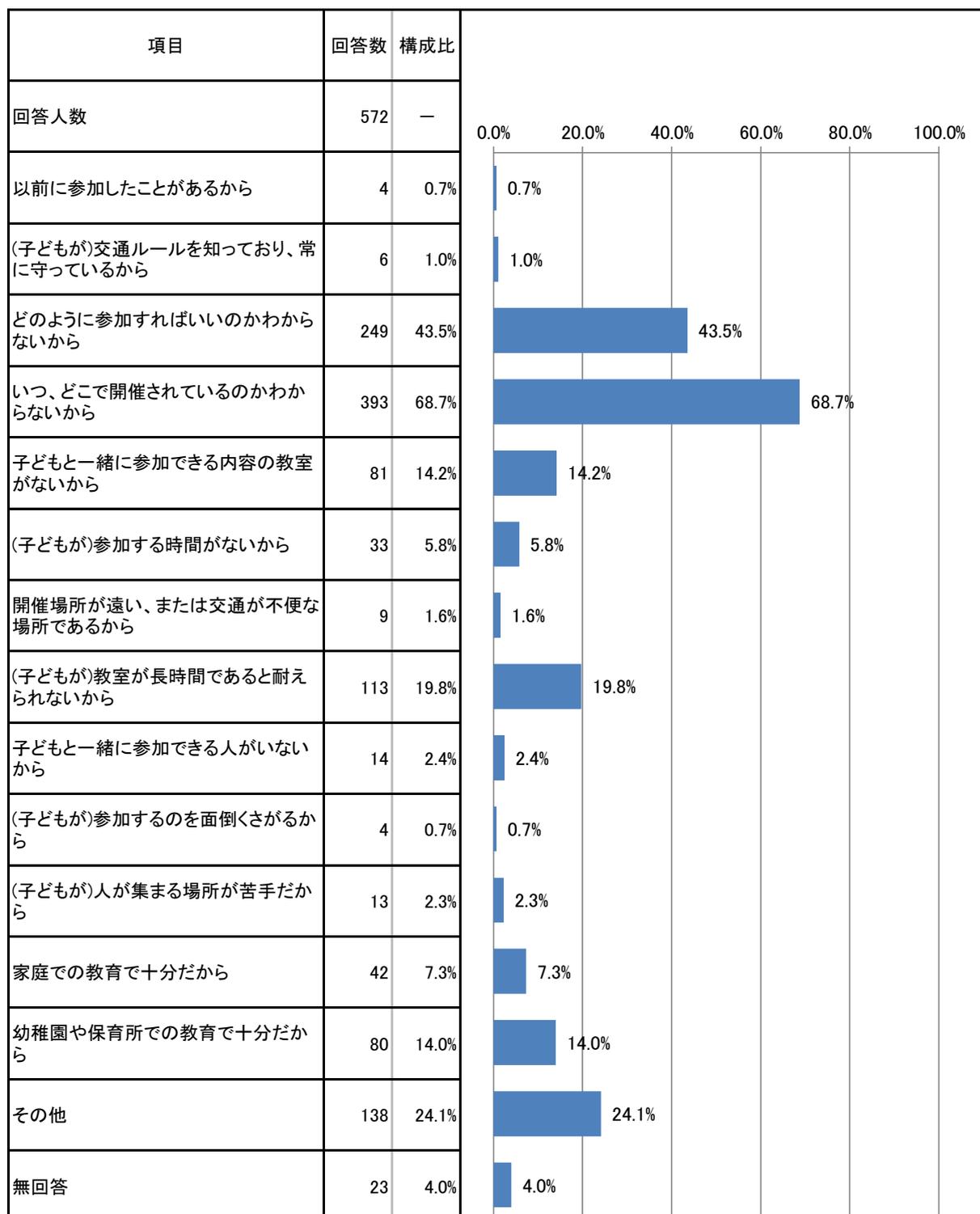
項目	回答人数		年齢別															
			0歳		1歳		2歳		3歳		4歳		5歳		6歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	951	100.0%	144	100.0%	135	100.0%	142	100.0%	129	100.0%	153	100.0%	162	100.0%	84	100.0%	2	100.0%
ある	314	33.0%	0	0.0%	6	4.4%	19	13.4%	46	35.7%	85	55.6%	105	64.8%	52	61.9%	1	50.0%
ない	572	60.1%	140	97.2%	124	91.9%	115	81.0%	70	54.3%	54	35.3%	46	28.4%	22	26.2%	1	50.0%
わからない	58	6.1%	0	0.0%	4	3.0%	8	5.6%	13	10.1%	14	9.2%	11	6.8%	8	9.5%	0	0.0%
無回答	7	0.7%	4	2.8%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.4%	0	0.0%

項目	回答人数		就園状況別							
			未就園児		保育園児		幼稚園児		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	951	100.0%	337	100.0%	297	100.0%	305	100.0%	12	100.0%
ある	314	33.0%	5	1.5%	104	35.0%	204	66.9%	1	8.3%
ない	572	60.1%	328	97.3%	154	51.9%	81	26.6%	9	75.0%
わからない	58	6.1%	0	0.0%	37	12.5%	20	6.6%	1	8.3%
無回答	7	0.7%	4	1.2%	2	0.7%	0	0.0%	1	8.3%

※問3で『②ない』とご回答された方にお聞きします。

**問3-1 対象のお子さんが、交通安全教室（講習会などを含む）に参加したことがない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）**

子どもが交通安全教室（講習会などを含む）に参加したことがない理由については、「いつ、どこで開催されているのかわからないから」が68.7%と最も高く、次いで「どのように参加すればいいのかわからないから」が43.5%、「（子どもが）教室が長時間であると耐えられないから」が19.8%となっている。



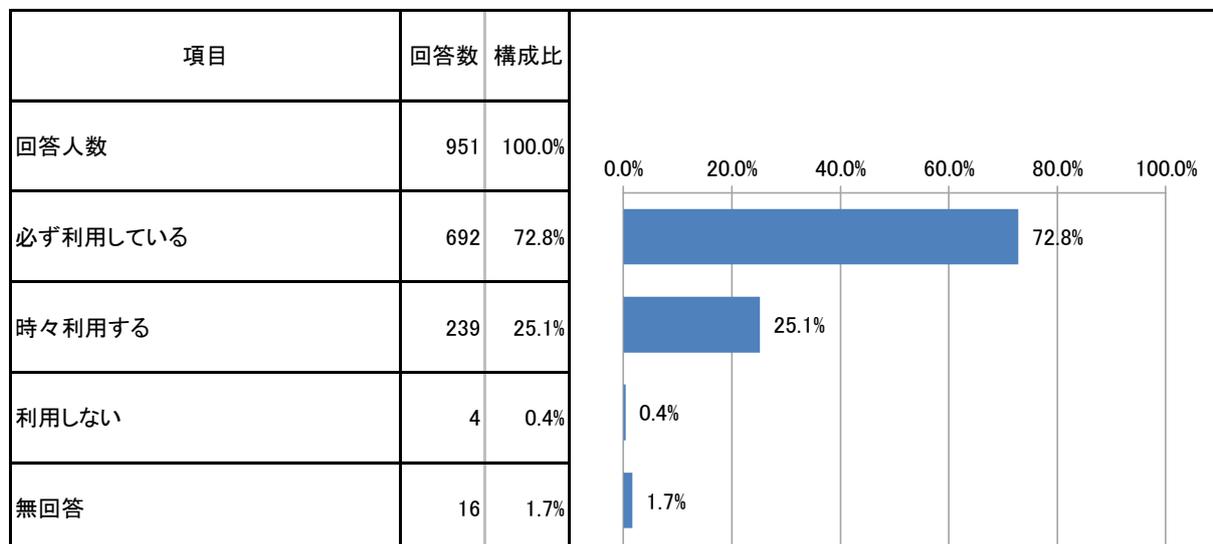
## 【属性別特徴】

就園状況別では、未就園児、保育園児、幼稚園児ともに「いつ、どこで開催されているのかわからないから」が最も高く、次いで「どのように参加したらいいのかわからないから」となっており、交通安全教室の広報周知が不足していることがわかる。

項目	回答人数		就園状況別							
			未就園児		保育園児		幼稚園児		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	572	—	328	—	154	—	81	—	9	—
以前に参加したことがあるから	4	0.7%	0	0.0%	2	1.3%	2	2.5%	0	0.0%
(子どもが)交通ルールを知っており、常に守っているから	6	1.0%	1	0.3%	1	0.6%	4	4.9%	0	0.0%
どのように参加すればいいのかわからないから	249	43.5%	134	40.9%	62	40.3%	47	58.0%	6	66.7%
いつ、どこで開催されているのかわからないから	393	68.7%	210	64.0%	107	69.5%	71	87.7%	5	55.6%
子どもと一緒に参加したい内容の教室がないから	81	14.2%	53	16.2%	18	11.7%	8	9.9%	2	22.2%
(子どもが)参加する時間がないから	33	5.8%	7	2.1%	20	13.0%	6	7.4%	0	0.0%
開催場所が遠い、または交通が不便な場所であるから	9	1.6%	5	1.5%	2	1.3%	2	2.5%	0	0.0%
(子ども)教室が長時間であると耐えられないから	113	19.8%	77	23.5%	27	17.5%	8	9.9%	1	11.1%
子どもと一緒に参加できる人がいないから	14	2.4%	5	1.5%	8	5.2%	1	1.2%	0	0.0%
(子どもが)参加するのを面倒くさがるから	4	0.7%	1	0.3%	1	0.6%	2	2.5%	0	0.0%
(子どもが)人が集まる場所が苦手だから	13	2.3%	7	2.1%	3	1.9%	2	2.5%	1	11.1%
家庭での教育で十分だから	42	7.3%	12	3.7%	12	7.8%	18	22.2%	0	0.0%
幼稚園や保育所での教育で十分だから	80	14.0%	6	1.8%	41	26.6%	33	40.7%	0	0.0%
その他	138	24.1%	105	32.0%	28	18.2%	2	2.5%	3	33.3%
無回答	23	4.0%	14	4.3%	7	4.5%	2	2.5%	0	0.0%

問4 あなた（保護者）は、歩行中に道路を横断する際、近辺に横断歩道がある場合は利用していますか。（ひとつに○）

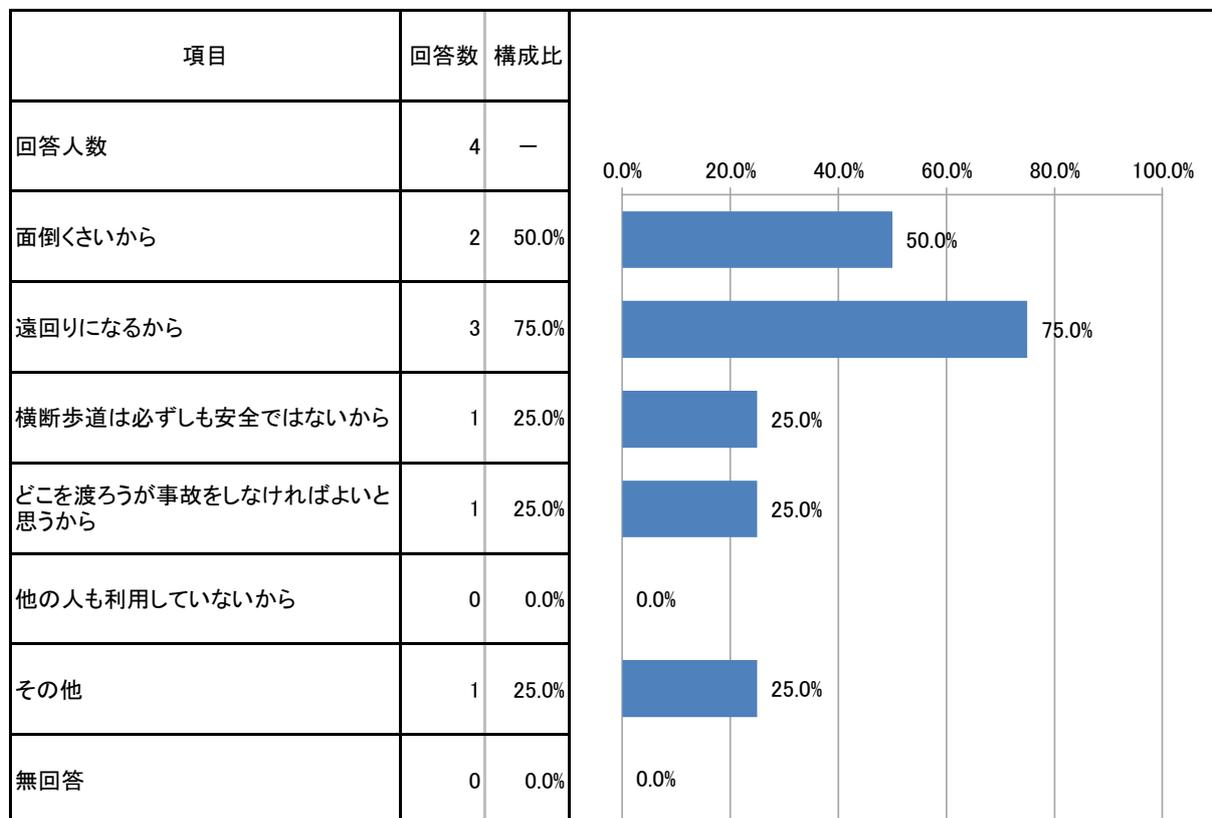
保護者が歩行中に道路を横断する際、近辺に横断歩道がある場合の利用については、「必ず利用している」が72.8%と最も高く、次いで「時々利用する」が25.1%、「利用しない」は0.4%とほとんどない。



※問4で『③利用しない』にご回答された方にお聞きします。

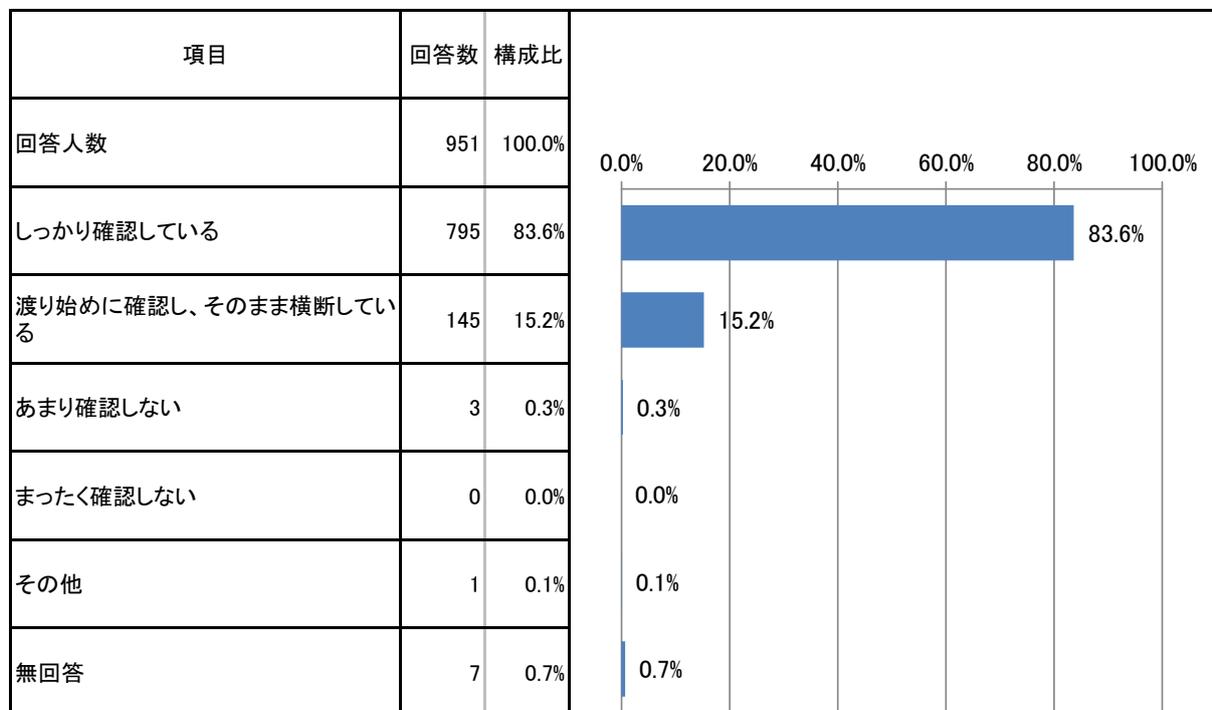
問4-1 横断歩道を利用しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

保護者が横断歩道を利用しない理由については、「遠回りになるから」が75.0%と最も高く、次いで「面倒くさいから」が50.0%、「横断歩道は必ずしも安全ではないから」「どこを渡ろうが事故をしなければよいと思うから」が25.0%となっている。



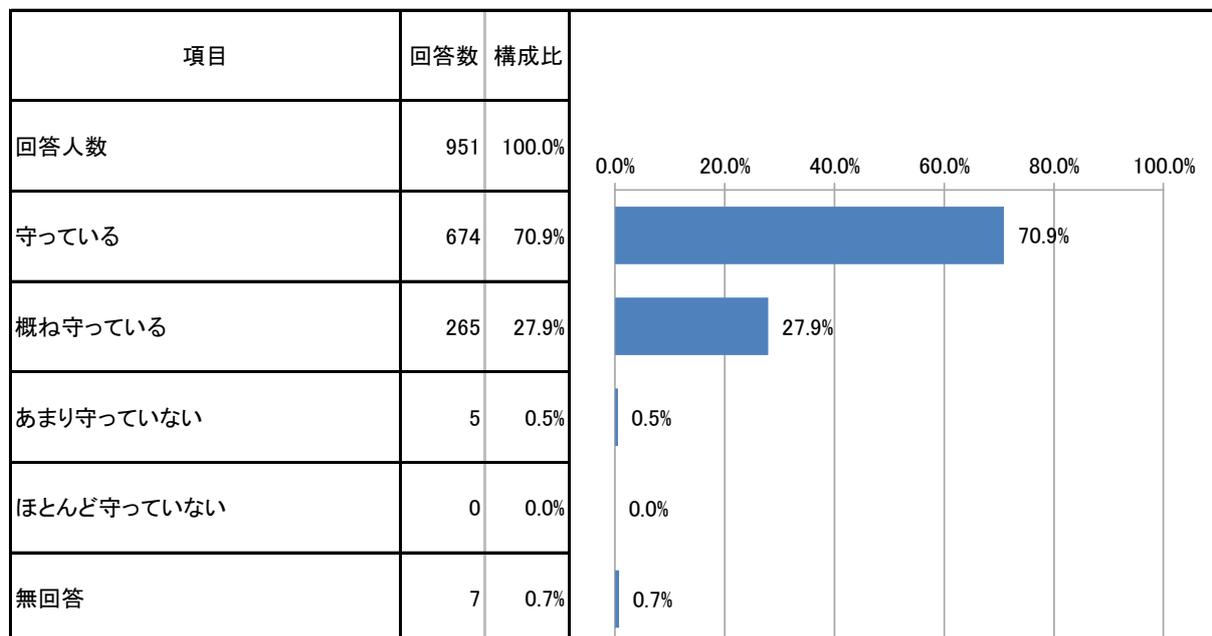
問5 あなた（保護者）は、歩行中に道路を横断する際、安全確認をおこなっていますか。（ひとつに○）

保護者が歩行中に道路を横断する際の安全確認については、「しっかり確認している」が83.6%と大半を占め、次いで「渡り始めに確認し、そのまま横断している」が15.2%で、「あまり確認しない」は0.3%とほとんどない。



問6 あなた（保護者）は、歩行中に信号機のない横断歩道を渡る際、ルール（信号）を守っていますか。（ひとつに○）

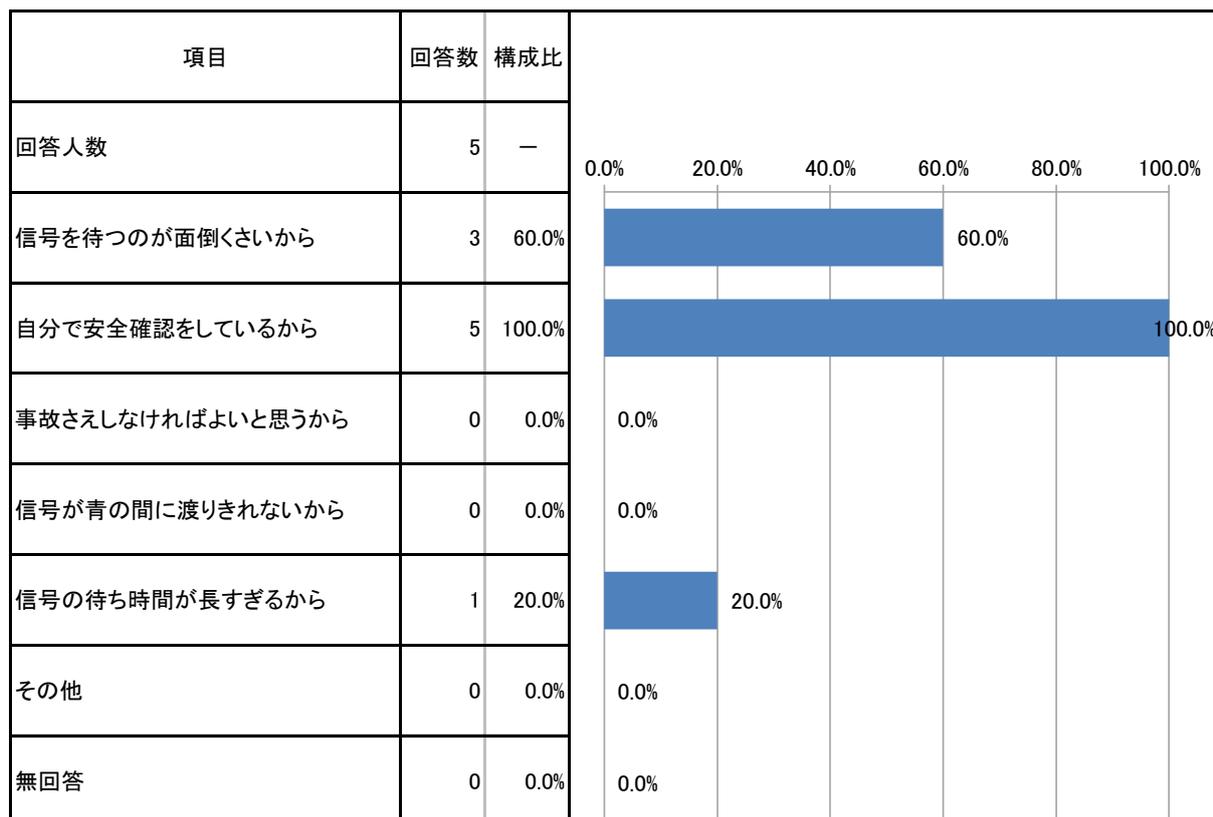
保護者が歩行中に信号機のない横断歩道を渡る際、ルール（信号）を守っているかについては、「守っている」が70.9%と最も高く、次いで「概ね守っている」が27.9%で、「あまり守っていない」は0.5%とほとんどない。



※問6で『③あまり守っていない』『④ほとんど守っていない』のいずれかにご回答された方にお聞きします。

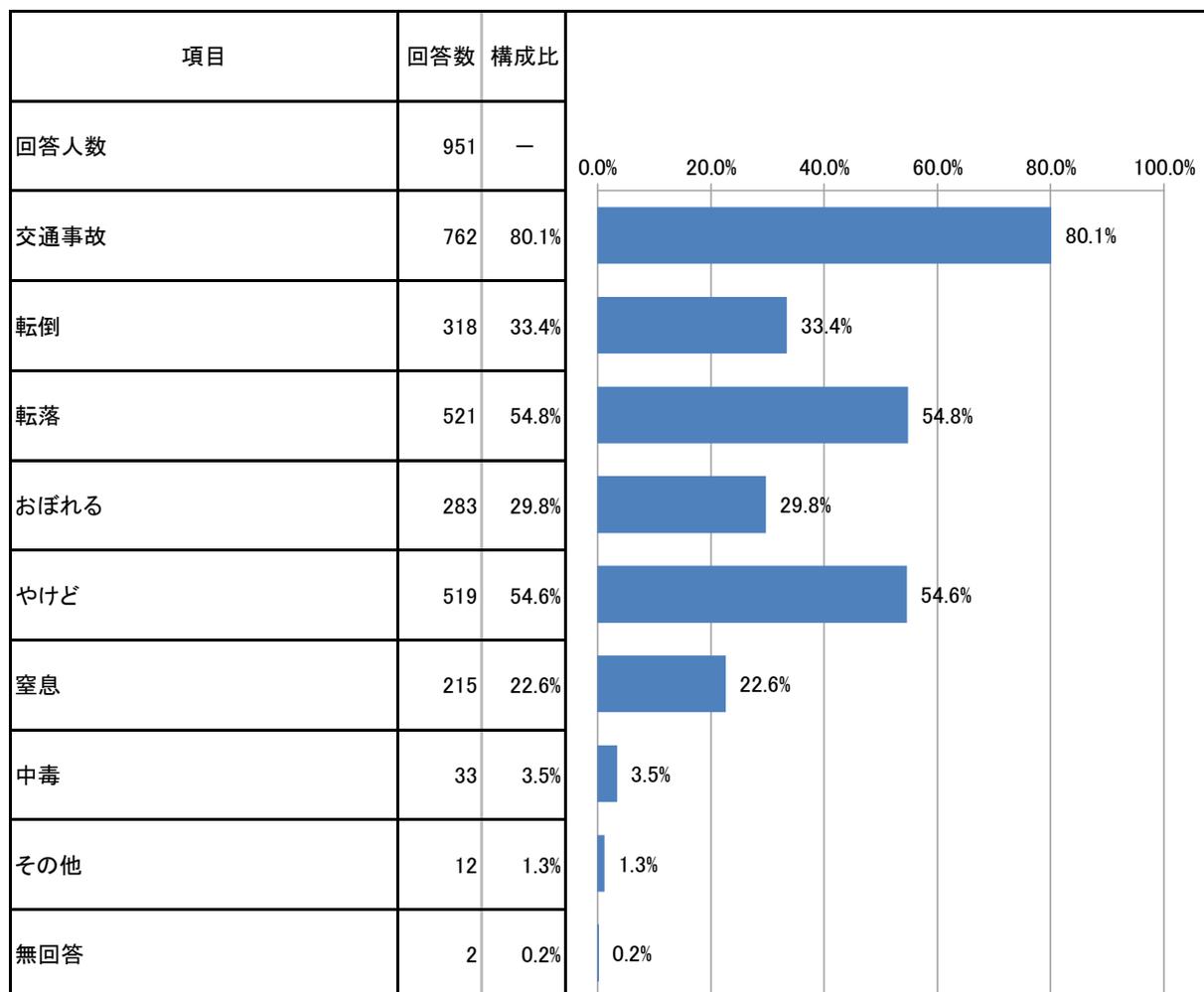
**問6-1 ルール（信号）を守っていないことがある理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）**

保護者がルール（信号）を守っていないことがある理由については、すべての人が「自分で安全確認をしているから」としており、「信号を待つのが面倒くさいから」も60.0%となっている。



問7 不慮の事故とは、交通事故、転倒、転落、おぼれる、やけど、窒息、中毒などをいいますが、対象のお子さんに対し、特に注意している不慮の事故は何ですか。（3つまで○）

特に注意している不慮の事故については、「交通事故」が80.1%と最も高く、次いで「転落」が54.8%、「やけど」が54.6%となっている。



## 【属性別特徴】

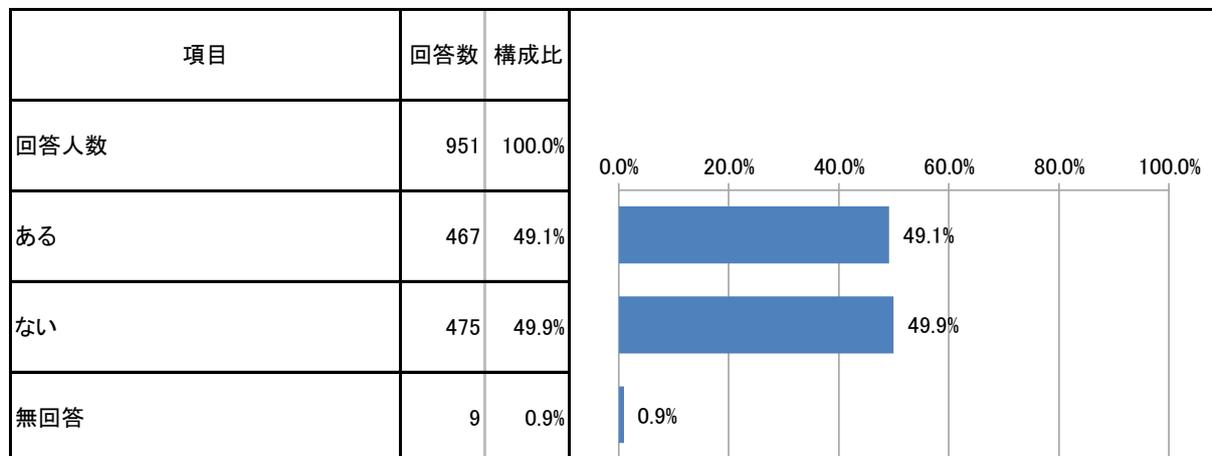
性別では、女の「やけど」が61.4%で、男の47.9%に比べて高くなっている。

年齢別では、3歳以上の「交通事故」が95.6%で、2歳以下の60.6%に比べて高くなっている。

項目	回答人数		性別						年齢別					
			男		女		無回答		2歳以下		3歳以上		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	951	—	484	—	461	—	6	—	421	—	528	—	2	—
交通事故	762	80.1%	383	79.1%	374	81.1%	5	83.3%	255	60.6%	505	95.6%	2	100.0%
転倒	318	33.4%	160	33.1%	157	34.1%	1	16.7%	177	42.0%	140	26.5%	1	50.0%
転落	521	54.8%	278	57.4%	239	51.8%	4	66.7%	275	65.3%	245	46.4%	1	50.0%
おぼれる	283	29.8%	153	31.6%	128	27.8%	2	33.3%	120	28.5%	163	30.9%	0	0.0%
やけど	519	54.6%	232	47.9%	283	61.4%	4	66.7%	214	50.8%	304	57.6%	1	50.0%
窒息	215	22.6%	122	25.2%	91	19.7%	2	33.3%	148	35.2%	67	12.7%	0	0.0%
中毒	33	3.5%	16	3.3%	17	3.7%	0	0.0%	10	2.4%	23	4.4%	0	0.0%
その他	12	1.3%	7	1.4%	5	1.1%	0	0.0%	6	1.4%	6	1.1%	0	0.0%
無回答	2	0.2%	2	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.5%	0	0.0%	0	0.0%

**問8 対象のお子さんが、この1年間にもう少して「事故やけが」に遭いそうになりヒヤリとしたことはありますか。(ひとつに○)**

子どもがこの1年間にもう少して「事故やけが」に遭いそうになりヒヤリとした経験については、「ある」が49.1%、「ない」が49.9%となっている。



**【属性別特徴】**

性別では、大きな差異はみられない。

年齢別では、1歳の「ある」が68.1%と最も高く、次いで2歳が59.9%となっており、0歳を除けば年齢が高くなるにつれ、割合が低くなっている。

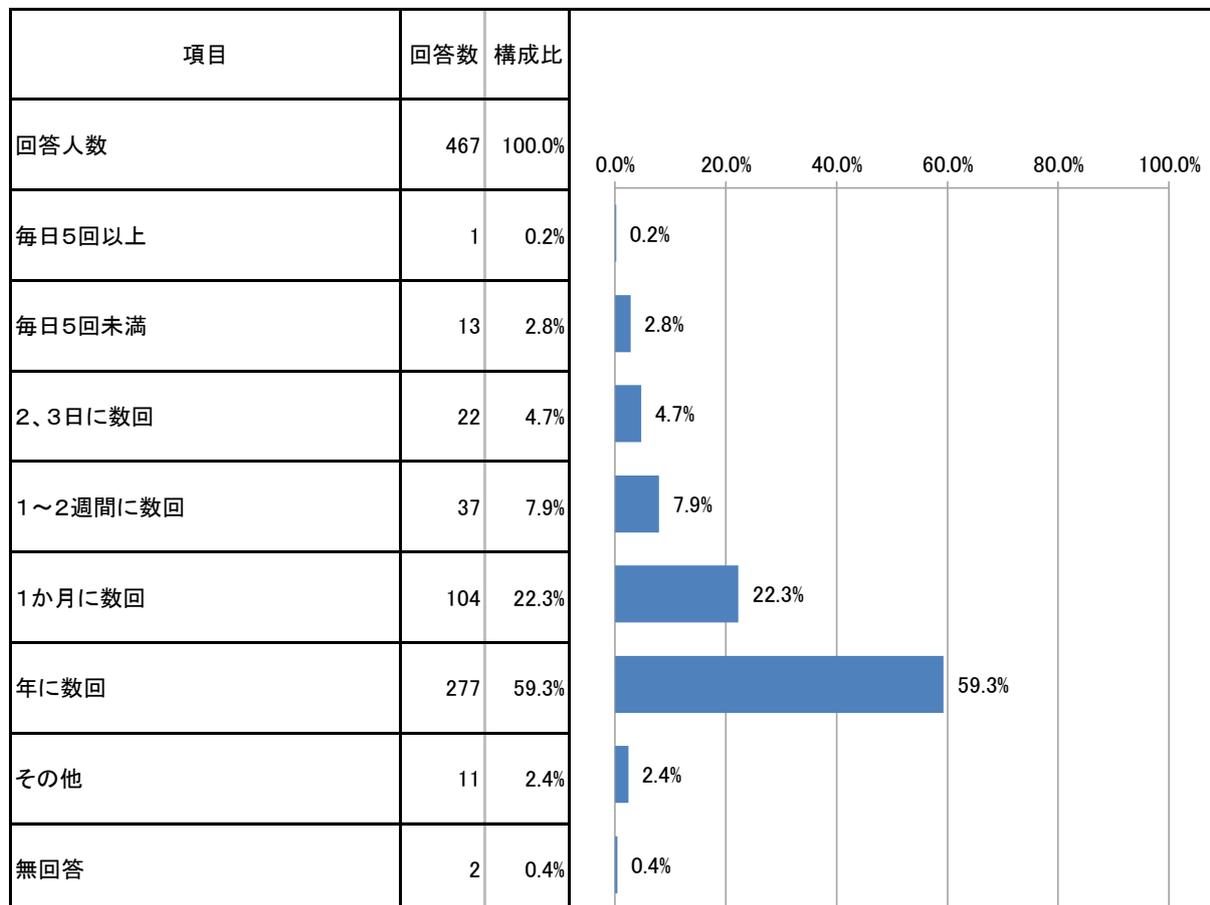
項目	回答人数		性別					
			男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	951	100.0%	484	100.0%	461	100.0%	6	100.0%
ある	467	49.1%	243	50.2%	219	47.5%	5	83.3%
ない	475	49.9%	236	48.8%	238	51.6%	1	16.7%
無回答	9	0.9%	5	1.0%	4	0.9%	0	0.0%

項目	回答人数		年齢別															
			0歳		1歳		2歳		3歳		4歳		5歳		6歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
回答人数	951	100.0%	144	100.0%	135	100.0%	142	100.0%	129	100.0%	153	100.0%	162	100.0%	84	100.0%	2	100.0%
ある	467	49.1%	51	35.4%	92	68.1%	85	59.9%	67	51.9%	64	41.8%	73	45.1%	34	40.5%	1	50.0%
ない	475	49.9%	89	61.8%	43	31.9%	56	39.4%	61	47.3%	88	57.5%	88	54.3%	49	58.3%	1	50.0%
無回答	9	0.9%	4	2.8%	0	0.0%	1	0.7%	1	0.8%	1	0.7%	1	0.6%	1	1.2%	0	0.0%

※問8で『①ある』とご回答された方にお聞きします。

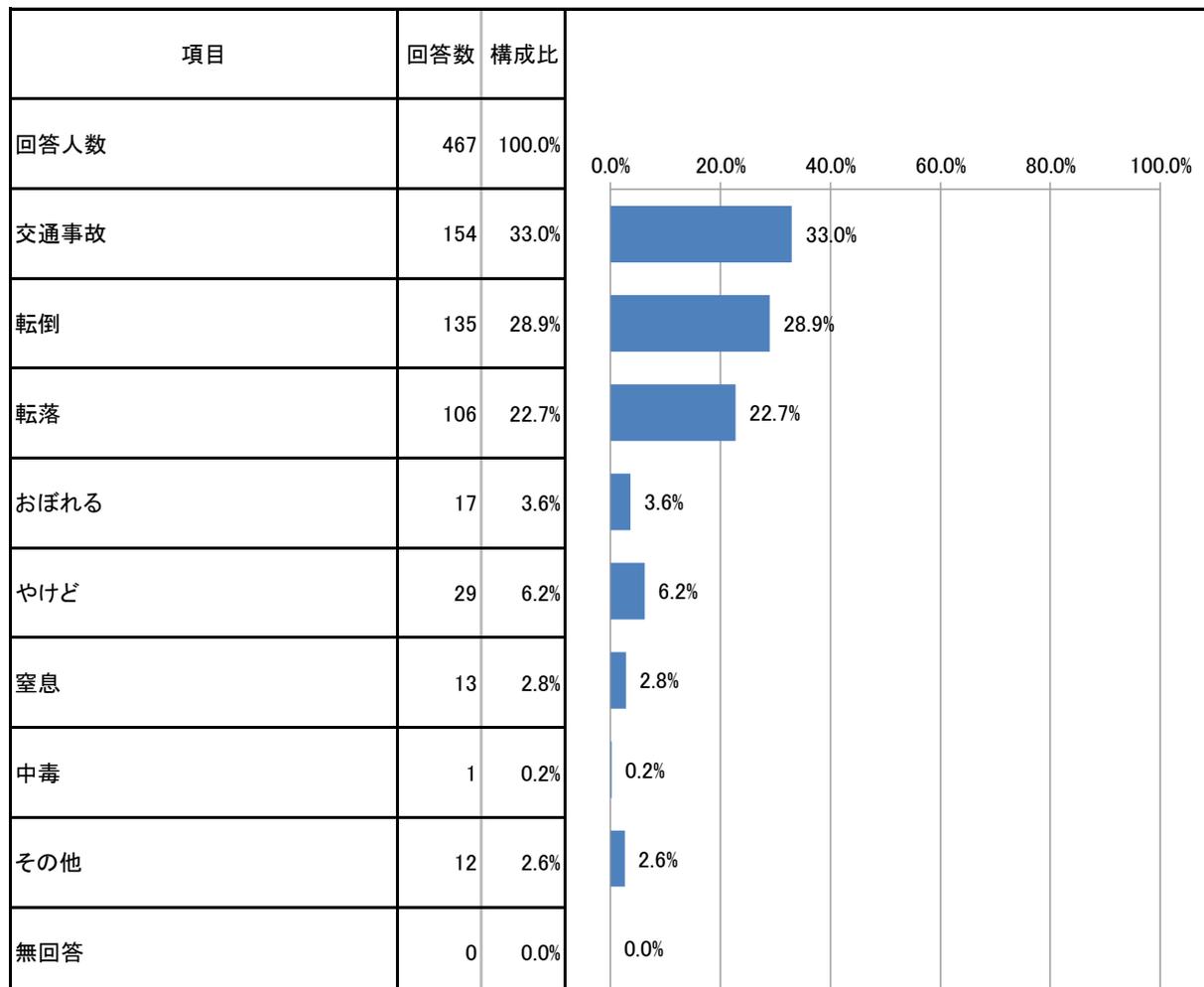
**問8-1 この1年間に対象のお子さんで、ヒヤリとしたことは、どのくらいの頻度  
でありますか。(一番近いものひとつに○)**

この1年間に子どもでヒヤリとした頻度については、「年に数回」が59.3%と最も高く、次いで「1か月に数回」が22.3%、「1～2週間に数回」が7.9%となっている。



問8-2 この1年間に対象のお子さんで、一番多くヒヤリとした体験は何ですか。  
(ひとつに〇)

この1年間に子どもで一番多くヒヤリとした体験については、「交通事故」が33.0%と最も高く、次いで「転倒」が28.9%、「転落」が22.7%となっている。



【属性別特徴】

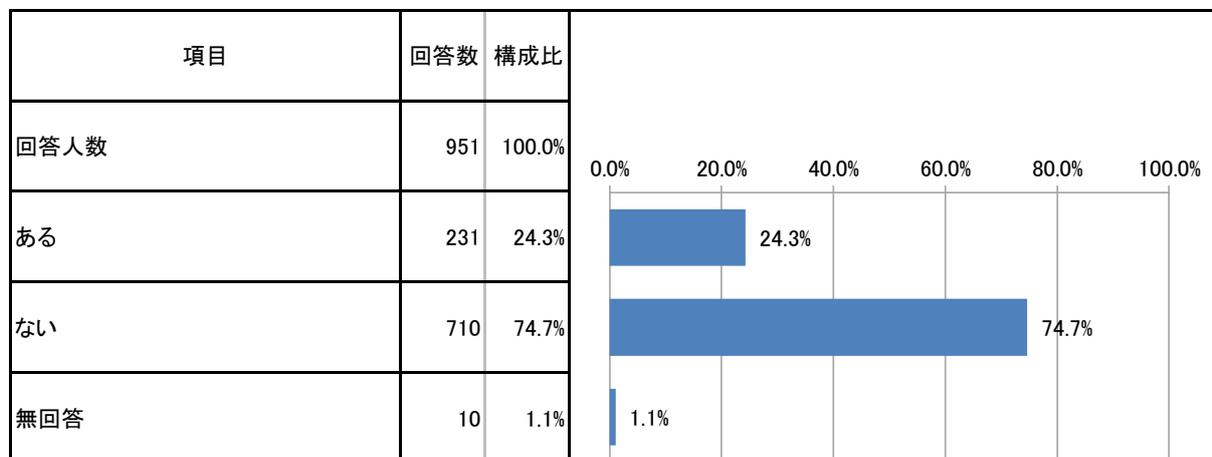
年齢別では、0歳、1歳は「転落」の割合が最も高く、2歳は「転倒」、3歳以降は「交通事故」が高くなっている。

項目	回答人数		年齢別															
			0歳		1歳		2歳		3歳		4歳		5歳		6歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	467	100.0%	51	100.0%	92	100.0%	85	100.0%	67	100.0%	64	100.0%	73	100.0%	34	100.0%	1	100.0%
交通事故	154	33.0%	0	0.0%	7	7.6%	22	25.9%	31	46.3%	28	43.8%	43	58.9%	23	67.6%	0	0.0%
転倒	135	28.9%	13	25.5%	31	33.7%	35	41.2%	19	28.4%	20	31.3%	13	17.8%	4	11.8%	0	0.0%
転落	106	22.7%	28	54.9%	32	34.8%	15	17.6%	8	11.9%	6	9.4%	11	15.1%	5	14.7%	1	100.0%
おぼれる	17	3.6%	2	3.9%	7	7.6%	3	3.5%	2	3.0%	2	3.1%	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%
やけど	29	6.2%	1	2.0%	9	9.8%	7	8.2%	2	3.0%	6	9.4%	3	4.1%	1	2.9%	0	0.0%
窒息	13	2.8%	5	9.8%	2	2.2%	1	1.2%	3	4.5%	1	1.6%	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%
中毒	1	0.2%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	12	2.6%	2	3.9%	3	3.3%	2	2.4%	2	3.0%	1	1.6%	1	1.4%	1	2.9%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

【乳幼児】

問9 対象のお子さんは、この1年間に「事故やけが」の経験がありますか。(ひとつに〇)

子どもがこの1年間に「事故やけが」の経験があるかについては、「ある」が24.3%、「ない」が74.7%となっている。



【属性別特徴】

性別では、大きな差異はみられない。

年齢別では、2歳以下の「ある」が27.1%で、3歳以上の22.0%に比べてやや高くなっている。

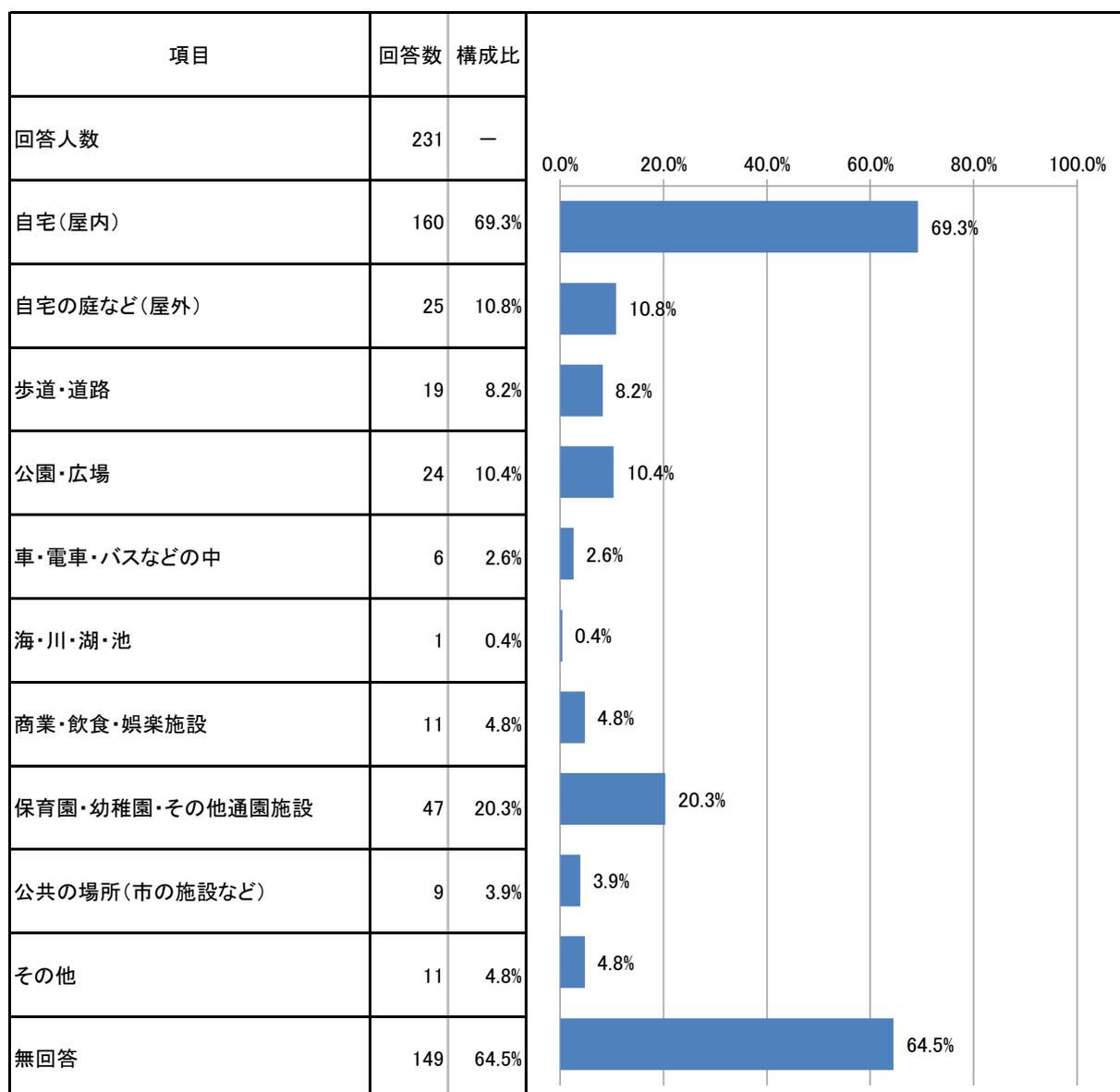
項目	回答人数		性別						年齢別					
			男		女		無回答		2歳以下		3歳以上		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	951	100.0%	484	100.0%	461	100.0%	6	100.0%	421	100.0%	528	100.0%	2	100.0%
ある	231	24.3%	125	25.8%	101	21.9%	5	83.3%	114	27.1%	116	22.0%	1	50.0%
ない	710	74.7%	356	73.6%	353	76.6%	1	16.7%	303	72.0%	406	76.9%	1	50.0%
無回答	10	1.1%	3	0.6%	7	1.5%	0	0.0%	4	1.0%	6	1.1%	0	0.0%

※問9で『①ある』とご回答された方にお聞きします。

問10 対象のお子さんのこの1年間（平成25年10月～平成26年9月）にあった事故やけがについて、ア：場所、イ：種類、ウ：医療機関の受診の状況、エ：その事故やけがを未然に防ぐことができた可能性を、それぞれ1つずつ、該当する番号でご回答ください。事故やけがの経験が複数ある場合は、最大2件までご回答ください。

### ア 事故やけがをした場所

事故やけがをした場所については、「自宅（屋内）」が69.3%と最も高く、次いで「保育園・幼稚園・その他通園施設」が20.3%、「自宅の庭など（屋外）」が10.8%、「公園・広場」が10.4%となっている。



【乳幼児】

【属性別特徴】

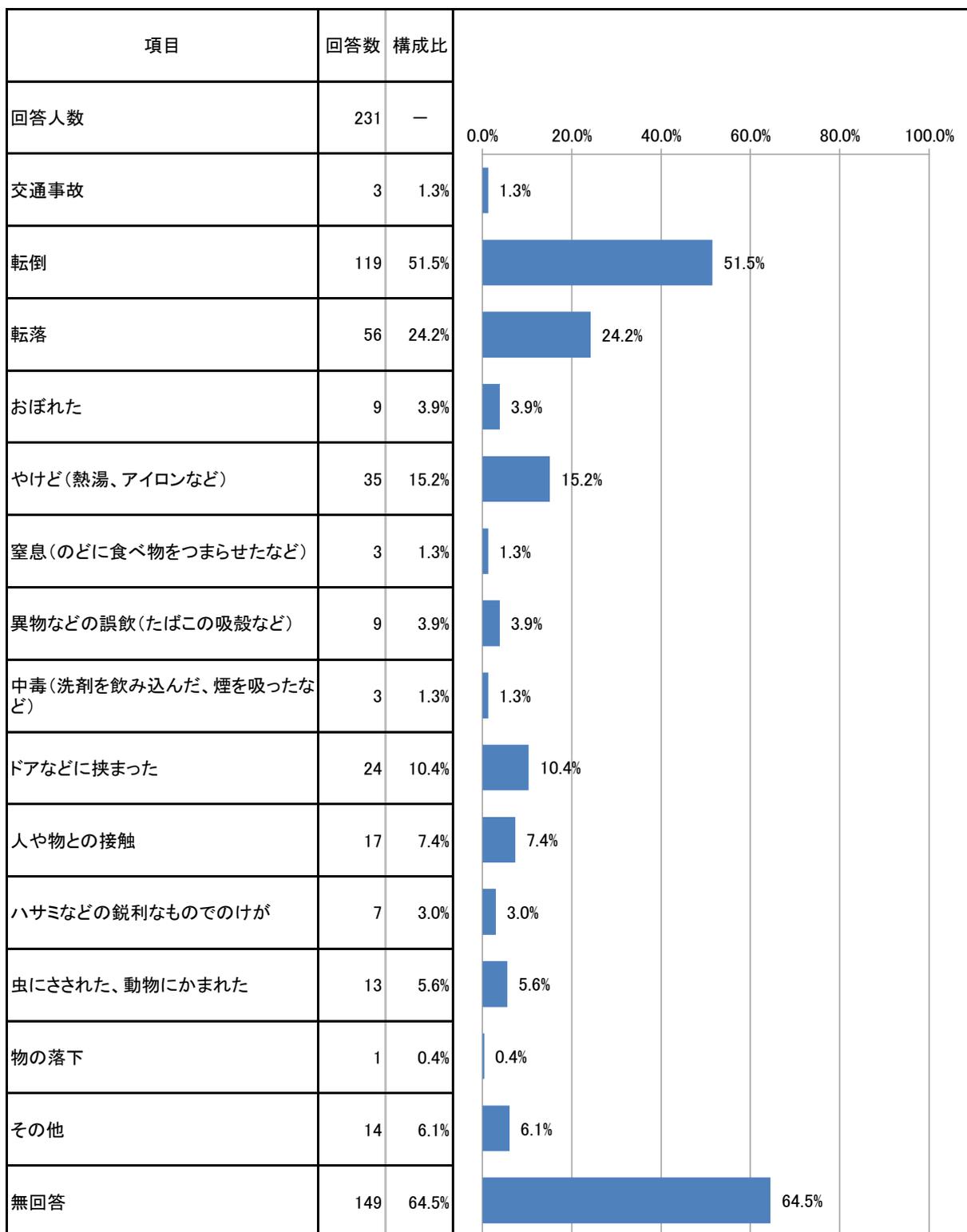
年齢別では、2歳以下の「自宅（屋内）」が93.9%で、3歳以上の45.7%に比べて高くなっている。

就園状況別では、未就園児の「自宅（屋内）」が86.6%と最も高く、次いで保育園児が62.5%、幼稚園児が52.5%となっている。

項目	回答人数		年齢別						就園状況別							
			2歳以下		3歳以上		無回答		未就園児		保育園児		幼稚園児		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	231	—	114	—	116	—	1	—	82	—	88	—	59	19.3%	2	—
自宅（屋内）	160	69.3%	107	93.9%	53	45.7%	0	0.0%	71	86.6%	55	62.5%	31	52.5%	3	150.0%
自宅の庭など（屋外）	25	10.8%	12	10.5%	13	11.2%	0	0.0%	10	12.2%	12	13.6%	3	5.1%	0	0.0%
歩道・道路	19	8.2%	4	3.5%	15	12.9%	0	0.0%	5	6.1%	11	12.5%	3	5.1%	0	0.0%
公園・広場	24	10.4%	6	5.3%	18	15.5%	0	0.0%	6	7.3%	8	9.1%	10	16.9%	0	0.0%
車・電車・バスなどの中	6	2.6%	3	2.6%	3	2.6%	0	0.0%	3	3.7%	2	2.3%	1	1.7%	0	0.0%
海・川・湖・池	1	0.4%	0	0.0%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
商業・飲食・娯楽施設	11	4.8%	5	4.4%	6	5.2%	0	0.0%	3	3.7%	5	5.7%	3	5.1%	0	0.0%
保育園・幼稚園・その他通園施設	47	20.3%	9	7.9%	37	31.9%	1	100.0%	4	4.9%	26	29.5%	17	28.8%	0	0.0%
公共の場所（市の施設など）	9	3.9%	4	3.5%	5	4.3%	0	0.0%	7	8.5%	1	1.1%	1	1.7%	0	0.0%
その他	11	4.8%	5	4.4%	6	5.2%	0	0.0%	3	3.7%	2	2.3%	6	10.2%	0	0.0%
無回答	149	64.5%	73	64.0%	75	64.7%	1	100.0%	52	63.4%	53	60.2%	43	72.9%	1	50.0%

## イ 事故やけがの種類

事故やけがの種類については、「転倒」が51.5%と最も高く、次いで「転落」が24.2%、「やけど（熱湯、アイロンなど）」が15.2%、「ドアなどに挟まった」が10.4%となっている。



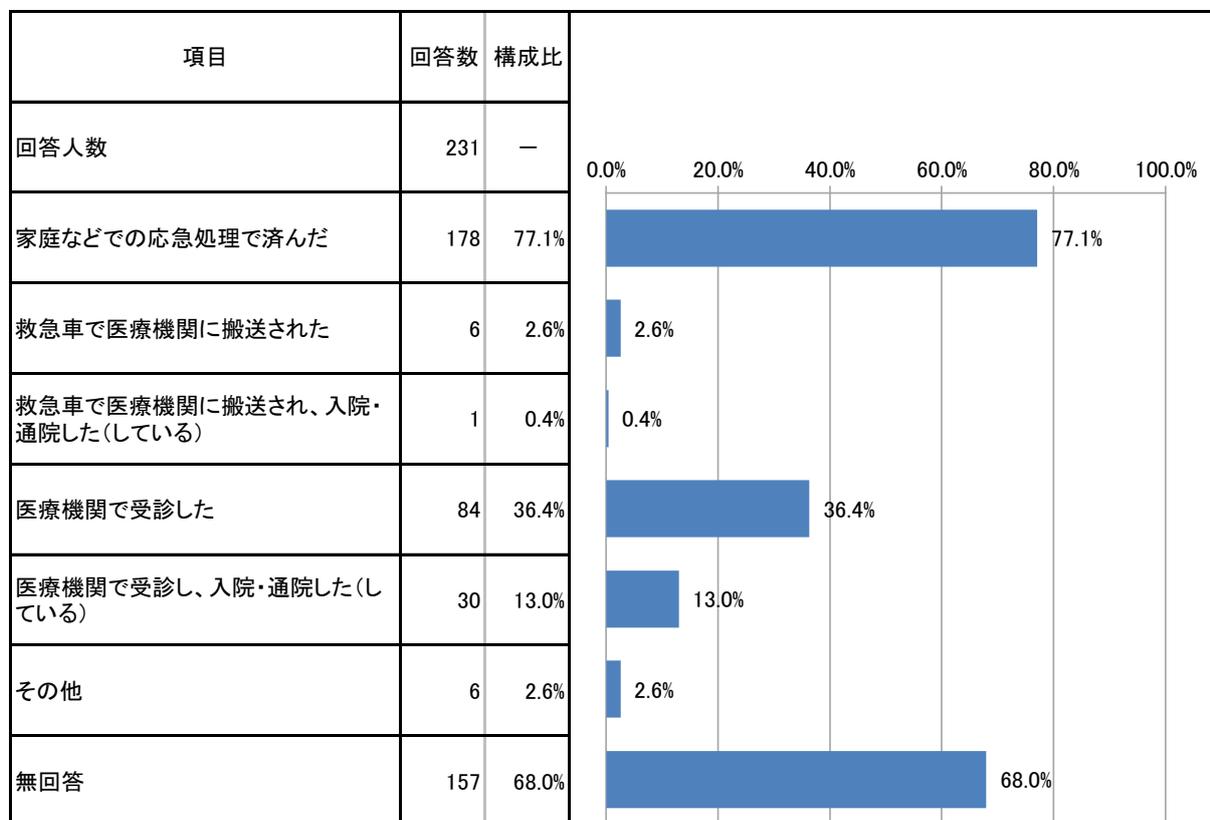
## 【属性別特徴】

年齢別では、0歳は「転落」の割合が最も高く、1歳以降は「転倒」が高くなっている。

項目	回答人数		年齢別															
			0歳		1歳		2歳		3歳		4歳		5歳		6歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	231	—	17	—	46	—	51	—	34	—	29	—	38	—	15	—	1	—
交通事故	3	1.3%	0	0.0%	1	2.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	13.3%	0	0.0%
転倒	119	51.5%	5	29.4%	25	54.3%	25	49.0%	18	52.9%	19	65.5%	20	52.6%	6	40.0%	1	100.0%
転落	56	24.2%	9	52.9%	16	34.8%	7	13.7%	9	26.5%	5	17.2%	10	26.3%	0	0.0%	0	0.0%
おぼれた	9	3.9%	0	0.0%	2	4.3%	4	7.8%	3	8.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
やけど(熱湯、アイロンなど)	35	15.2%	1	5.9%	6	13.0%	13	25.5%	3	8.8%	5	17.2%	6	15.8%	1	6.7%	0	0.0%
窒息(のどに食べ物をつまらせたなど)	3	1.3%	0	0.0%	2	4.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%
異物などの誤飲(たばこの吸殻など)	9	3.9%	2	11.8%	5	10.9%	2	3.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
中毒(洗剤を飲み込んだ、煙を吸ったなど)	3	1.3%	2	11.8%	0	0.0%	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
ドアなどに挟まった	24	10.4%	0	0.0%	2	4.3%	9	17.6%	4	11.8%	3	10.3%	5	13.2%	1	6.7%	0	0.0%
人や物との接触	17	7.4%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.9%	5	14.7%	4	13.8%	3	7.9%	3	20.0%	0	0.0%
ハサミなどの鋭利なものでのけが	7	3.0%	0	0.0%	1	2.2%	2	3.9%	2	5.9%	1	3.4%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%
虫にさされた、動物にかまれた	13	5.6%	1	5.9%	2	4.3%	3	5.9%	0	0.0%	2	6.9%	5	13.2%	0	0.0%	0	0.0%
物の落下	1	0.4%	0	0.0%	1	2.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	14	6.1%	1	5.9%	1	2.2%	1	2.0%	6	17.6%	2	6.9%	1	2.6%	1	6.7%	1	100.0%
無回答	149	64.5%	11	64.7%	28	60.9%	33	64.7%	18	52.9%	17	58.6%	24	63.2%	16	106.7%	2	200.0%

ウ 医療機関の受診

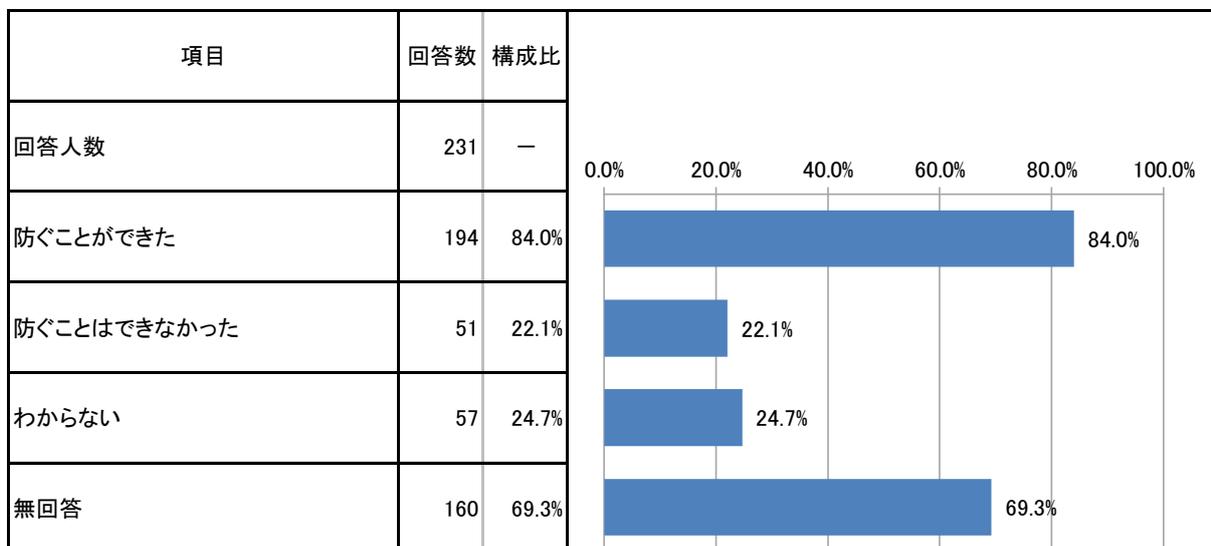
医療機関の受診については、「家庭などでの応急処理で済んだ」が 77.1%と最も高く、次いで「医療機関で受診した」が 36.4%、「医療機関で受診し、入院・通院した（している）」が 13.0%となっている。



【乳幼児】

エ 未然に防ぐことができた可能性

未然に防ぐことができた可能性については、「防ぐことができた」が84.0%と最も高く、次いで「わからない」が24.7%、「防ぐことはできなかった」が22.1%となっている。



【属性別特徴】

性別では、女の「防ぐことはできなかった」が27.7%で、男の16.8%に比べて高くなっている。

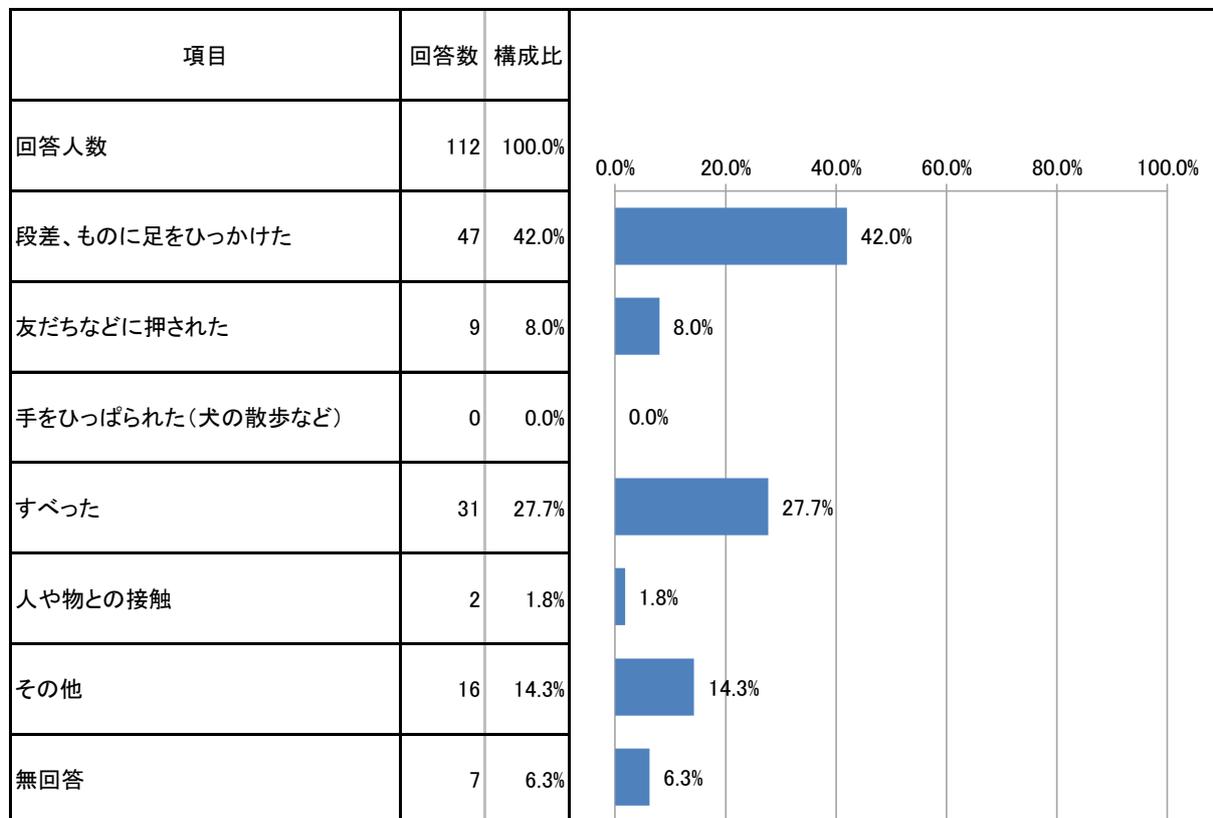
年齢別では、2歳以下の「防ぐことができた」が97.4%で、3歳以上の70.7%に比べて高くなっている。

項目	回答人数		性別						年齢別					
			男		女		無回答		2歳以下		3歳以上		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	231	—	125	—	101	—	5	—	114	—	116	—	1	—
防ぐことができた	194	84.0%	105	84.0%	86	85.1%	3	60.0%	111	97.4%	82	70.7%	1	100.0%
防ぐことはできなかった	51	22.1%	21	16.8%	28	27.7%	2	40.0%	15	13.2%	36	31.0%	0	0.0%
わからない	57	24.7%	36	28.8%	19	18.8%	2	40.0%	25	21.9%	32	27.6%	0	0.0%
無回答	160	69.3%	88	70.4%	69	68.3%	3	60.0%	77	67.5%	82	70.7%	1	100.0%

※問 10 の『イ 事故やけがの種類』で『②転倒』とご回答された方にお聞きします。

問 10-1 転倒の原因（ひとつに○）

転倒の原因については、「段差、ものに足をひっかけた」が 42.0%と最も高く、次いで「すべった」が 27.7%、「その他」が 14.3%、「友だちなどに押された」が 8.0%となっている。



## 【属性別特徴】

性別では、男の「すべった」が40.7%で、女の16.1%と比べて高くなっている。

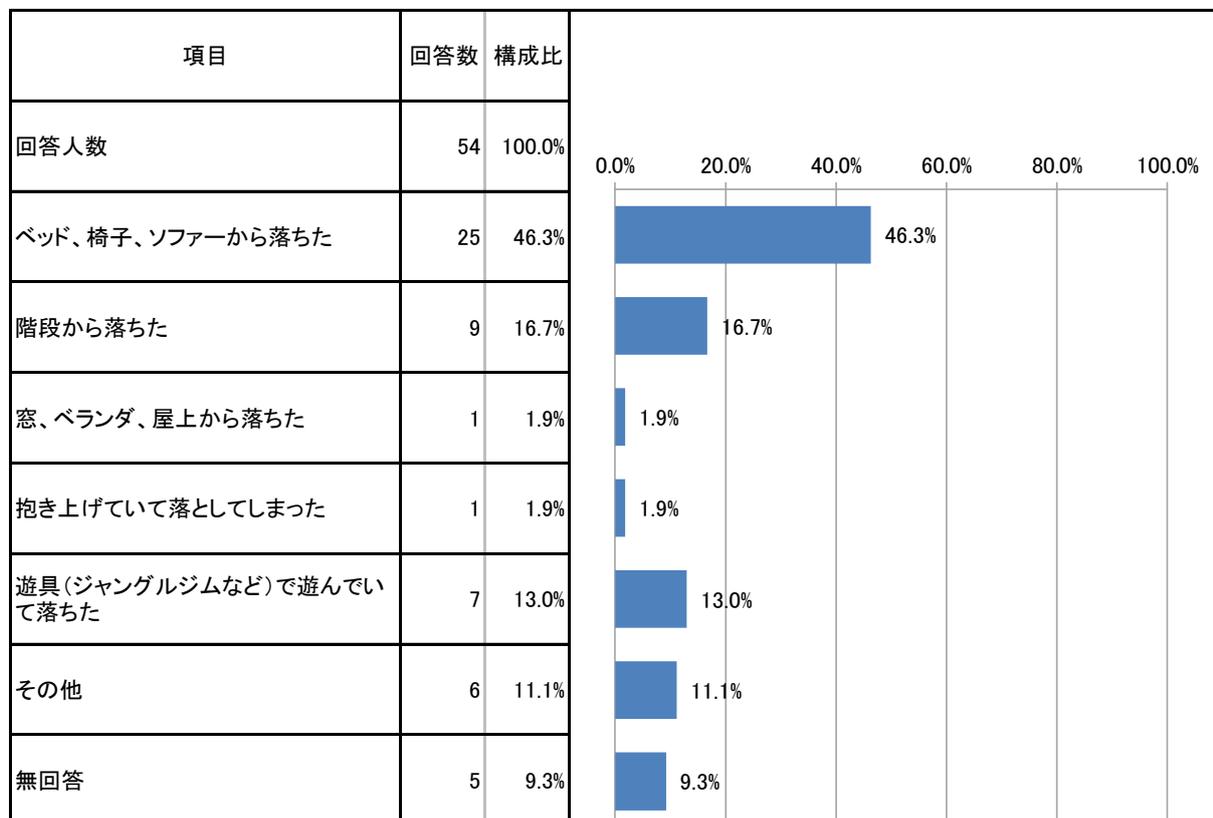
年齢別では、2歳以下の「すべった」が36.5%で、3歳以上の20.3%に比べて高くなっている。

項目	回答人数		性別						年齢別					
			男		女		無回答		2歳以下		3歳以上		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	112	100.0%	54	100.0%	56	100.0%	2	100.0%	52	100.0%	59	100.0%	1	100.0%
段差、ものに足をひっかけた	47	42.0%	16	29.6%	29	51.8%	2	100.0%	21	40.4%	25	42.4%	1	100.0%
友だちなどに押された	9	8.0%	5	9.3%	4	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	9	15.3%	0	0.0%
手をひっぱられた(犬の散歩など)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
すべった	31	27.7%	22	40.7%	9	16.1%	0	0.0%	19	36.5%	12	20.3%	0	0.0%
人や物との接触	2	1.8%	1	1.9%	1	1.8%	0	0.0%	1	1.9%	1	1.7%	0	0.0%
その他	16	14.3%	7	13.0%	9	16.1%	0	0.0%	8	15.4%	8	13.6%	0	0.0%
無回答	7	6.3%	3	5.6%	4	7.1%	0	0.0%	3	5.8%	4	6.8%	0	0.0%

※問 10 の『イ 事故やけがの種類』で『③転落』とご回答された方にお聞きします。

問 10-2 転落の原因（ひとつに○）

転落の原因については、「ベッド、椅子、ソファから落ちた」が 46.3%と最も高く、次いで「階段から落ちた」が 16.7%、「遊具（ジャングルジムなど）で遊んでいて落ちた」が 13.0%となっている。

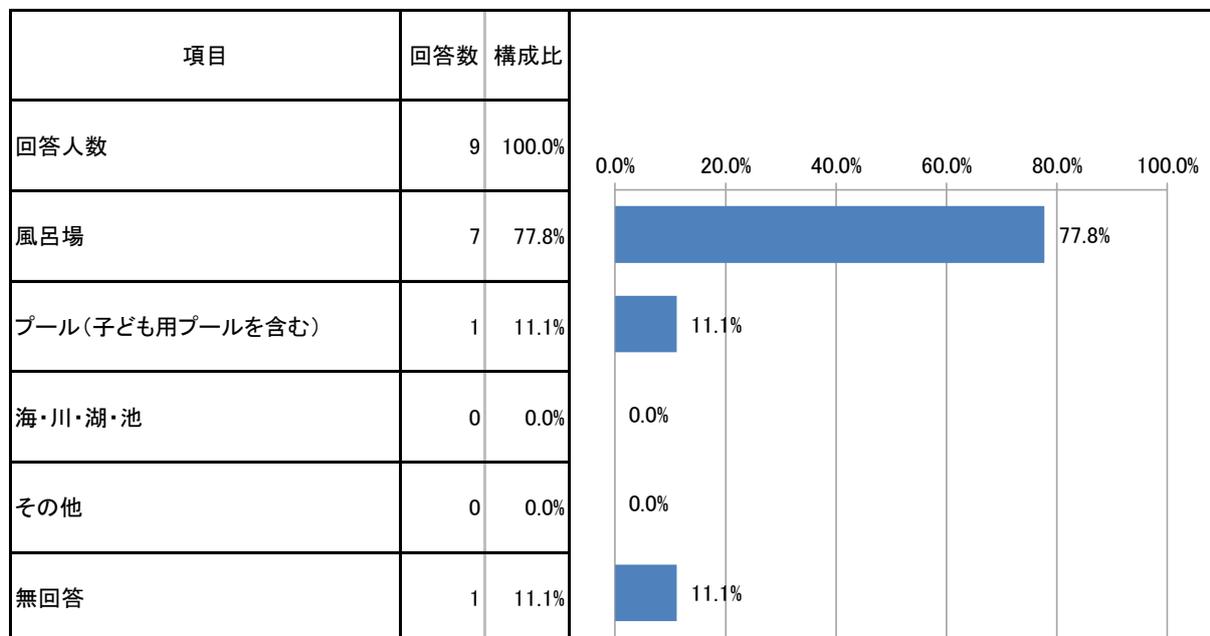


【乳幼児】

※問 10 の『イ 事故やけがの種類』で『④おぼれた』とご回答された方にお聞きします。

問 10-3 おぼれた場所（ひとつに○）

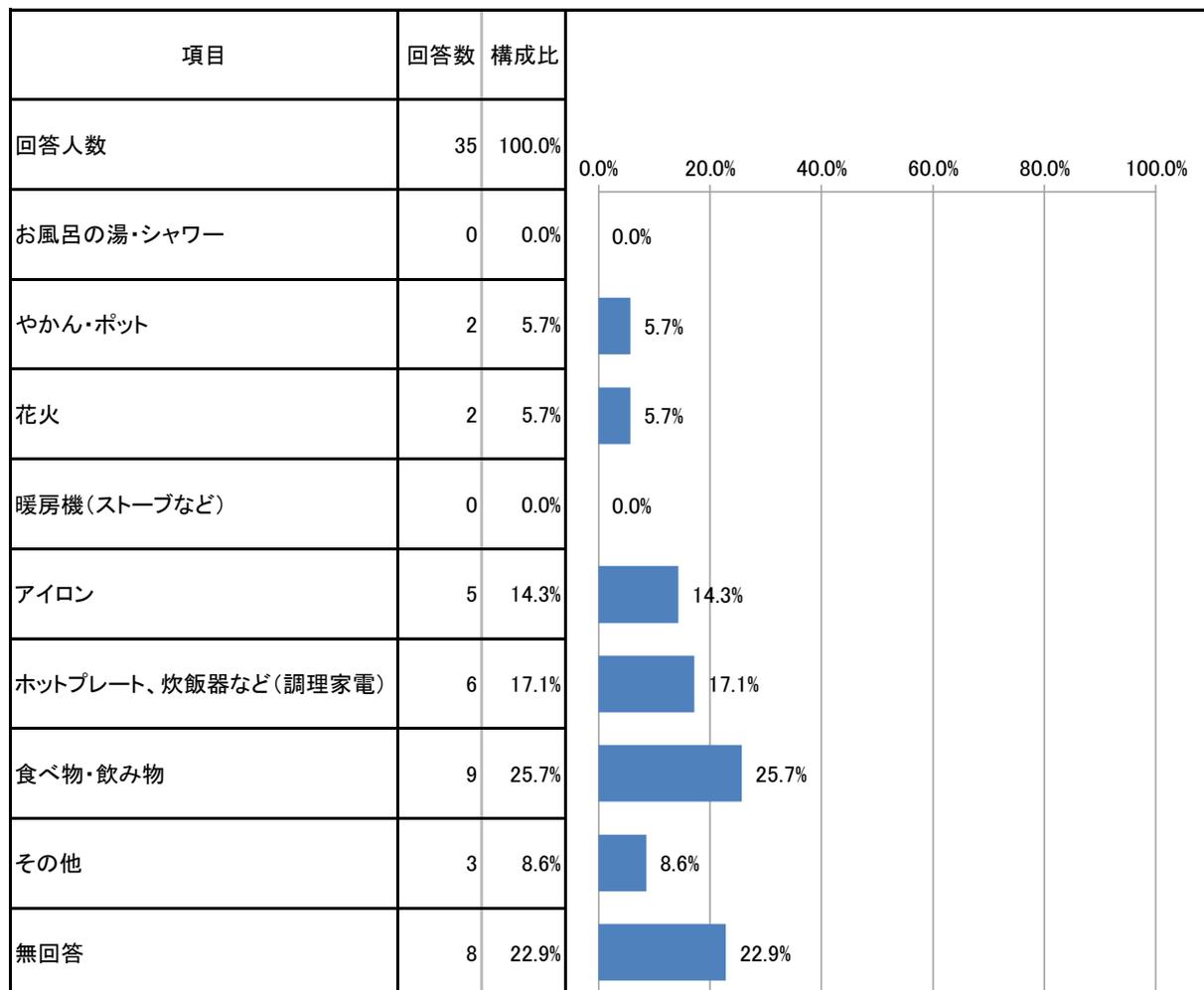
おぼれた場所については、「風呂場」が 77.8%と最も高く、次いで「プール（子ども用プールを含む）」が 11.1%となっている。



※問 10 の『イ 事故やけがの種類』で『⑤やけど』とご回答された方にお聞きします。

問 10-4 やけどの原因（ひとつに○）

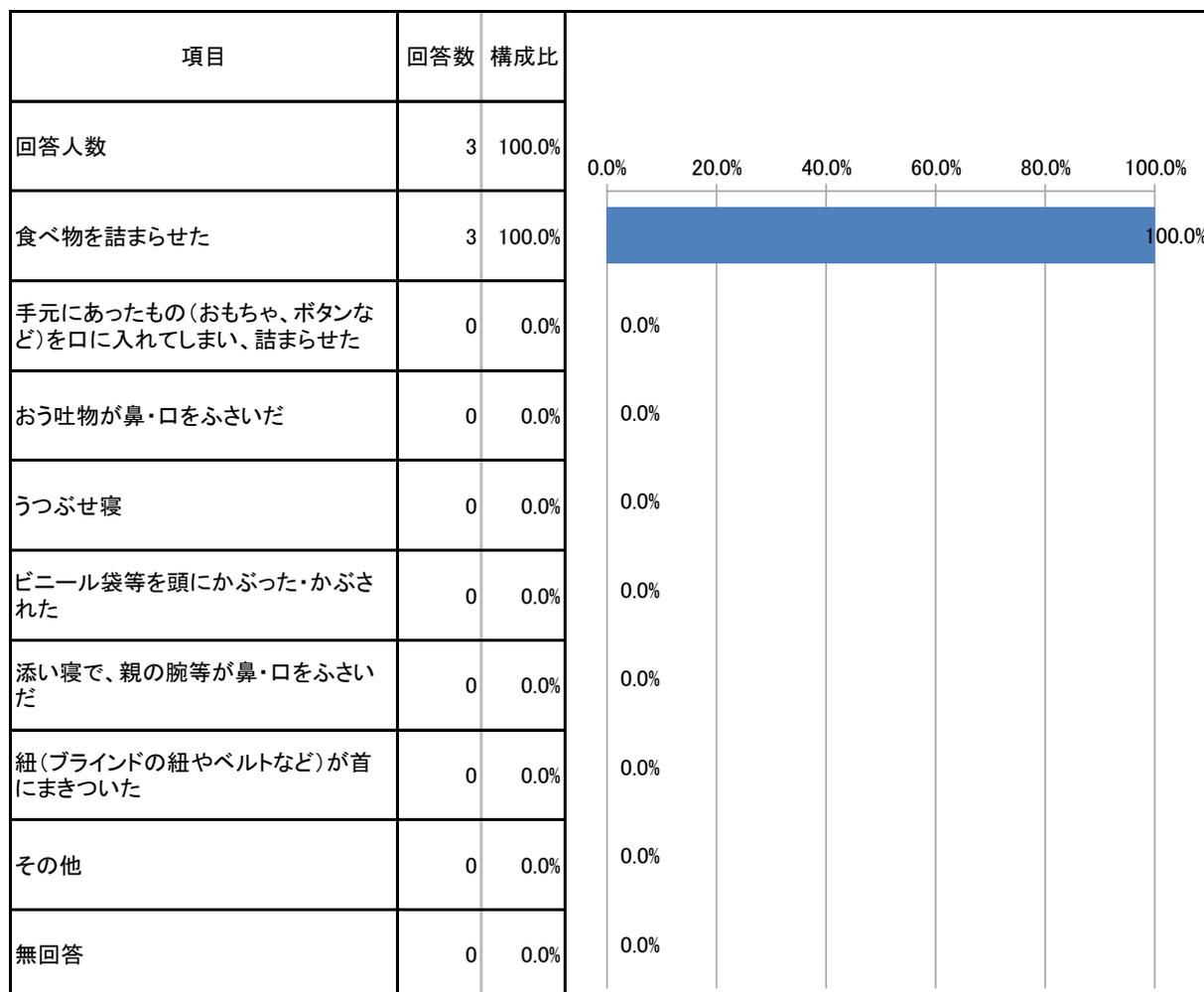
やけどの原因については、「食べ物・飲み物」が 25.7%と最も高く、次いで「ホットプレート、炊飯器など（調理家電）」が 17.1%、「アイロン」が 14.3%となっている。



※問 10 の『イ 事故やけがの種類』で『⑥窒息』とご回答された方にお聞きします。

問 10-5 窒息の原因・状況（ひとつに○）

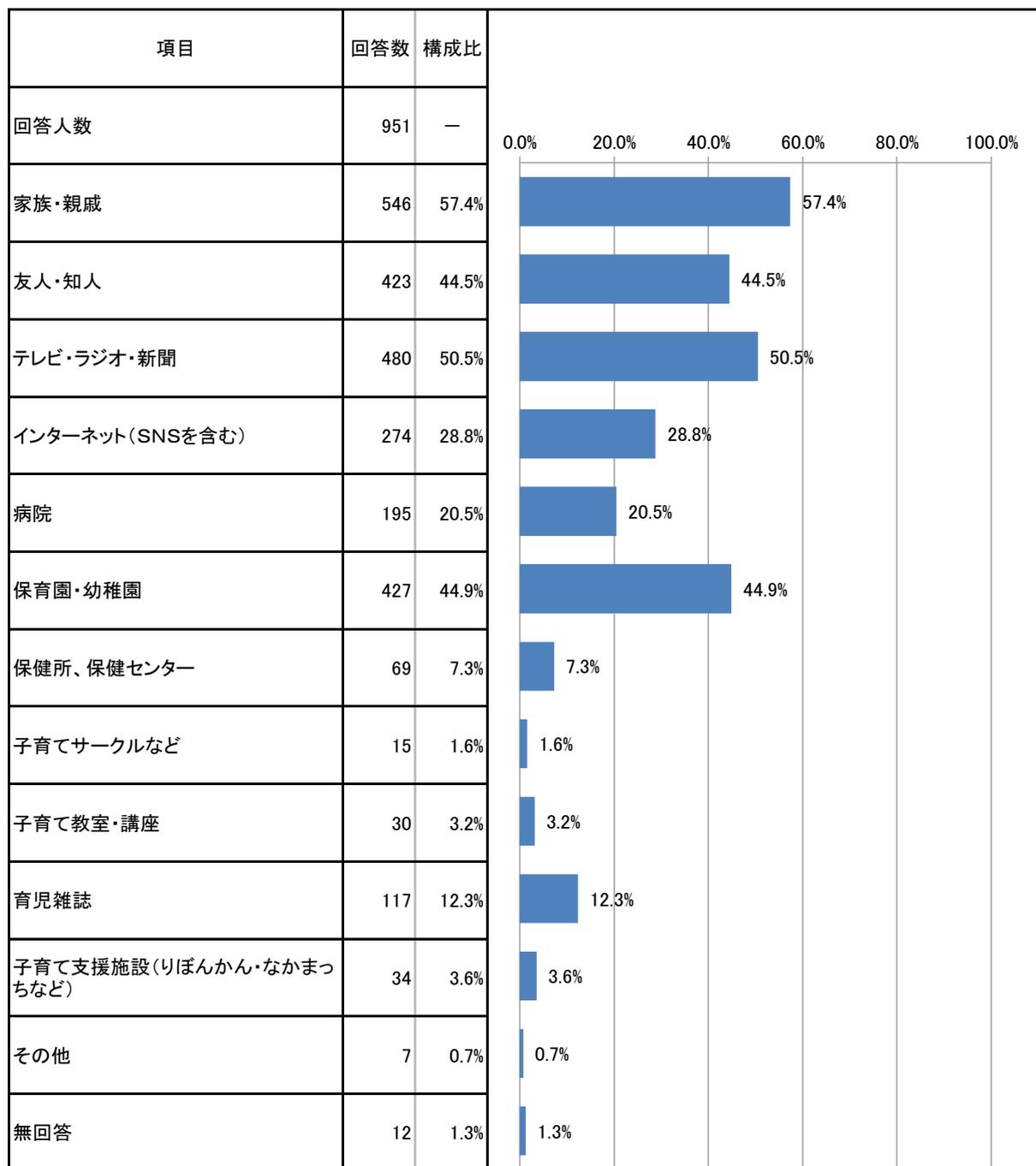
窒息の原因・状況については、「食べ物を詰ませた」が 100.0%と最も高くなっている。



問 11 お子さんの事故やけがの予防に関する情報は、なに(どこ)から得ていますか。  
 また、お子さんの事故やけがの予防のために、より充実して欲しいと思うものは、なに(どこ)ですか。(3つまで○)

(現在、得ている)

子どもの事故やけがの予防に関する情報源については、「家族・親戚」が 57.4%と最も高く、次いで「テレビ・ラジオ・新聞」が 50.5%、「保育園・幼稚園」が 44.9%、「友人・知人」が 44.5%となっている。



## 【属性別特徴】

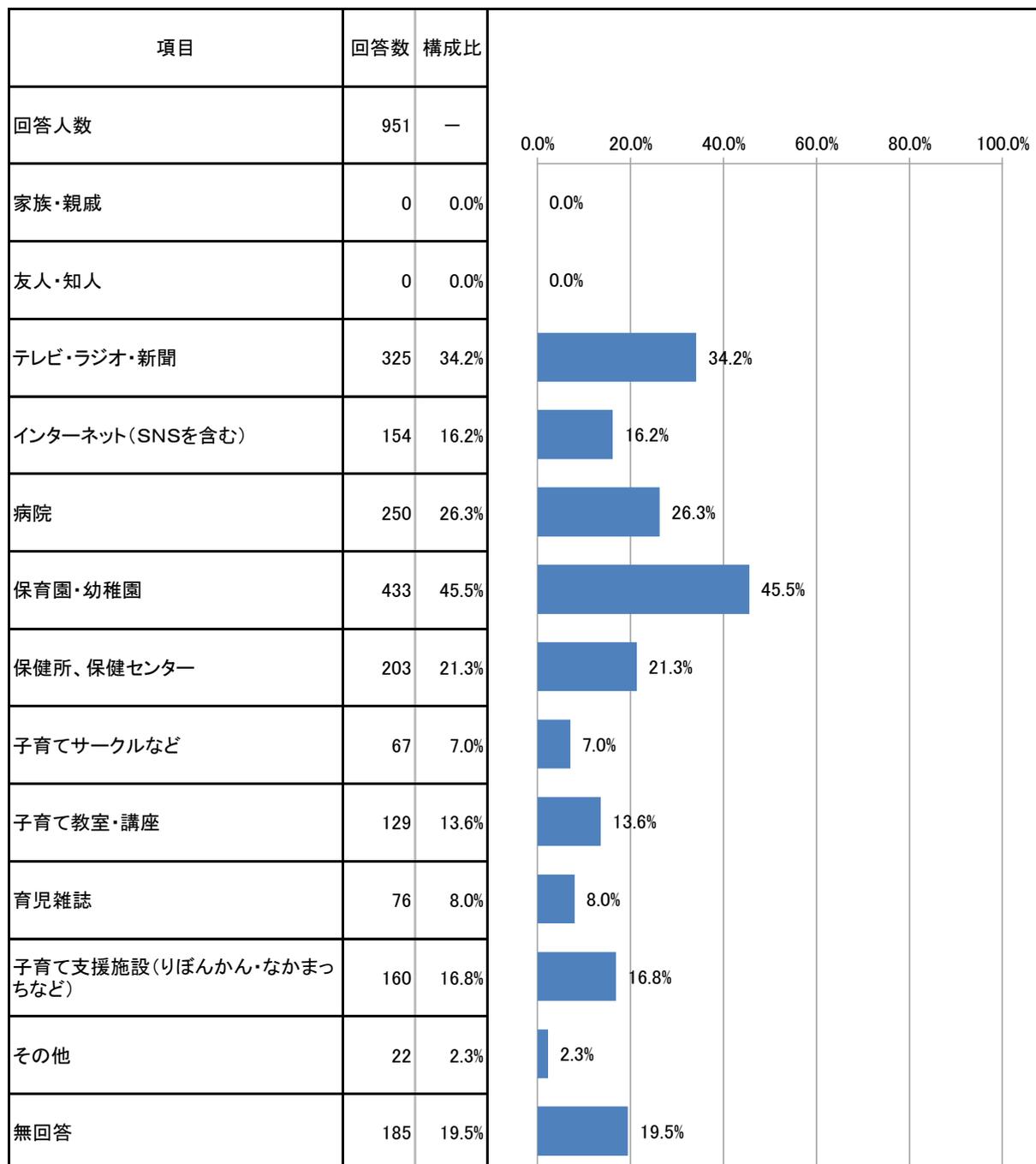
年齢別では、3歳以上の「保育園・幼稚園」が63.4%で、2歳以下の21.4%に比べて高くなっている。

就園状況別では、未就園児は「家族・親戚」が61.7%と最も高く、保育園児、幼稚園児は「保育園・幼稚園」がそれぞれ70.4%、65.2%と最も高くなっている。

項目	回答人数		年齢別						就園状況別							
			2歳以下		3歳以上		無回答		未就園児		保育園児		幼稚園児		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	951	—	421	—	528	—	2	—	337	—	297	—	305	—	12	—
家族・親戚	546	57.4%	257	61.0%	287	54.4%	2	100.0%	208	61.7%	170	57.2%	161	52.8%	7	58.3%
友人・知人	423	44.5%	175	41.6%	248	47.0%	0	0.0%	161	47.8%	103	34.7%	152	49.8%	7	58.3%
テレビ・ラジオ・新聞	480	50.5%	189	44.9%	290	54.9%	1	50.0%	150	44.5%	144	48.5%	180	59.0%	6	50.0%
インターネット(SNSを含む)	274	28.8%	135	32.1%	139	26.3%	0	0.0%	116	34.4%	74	24.9%	82	26.9%	2	16.7%
病院	195	20.5%	109	25.9%	86	16.3%	0	0.0%	95	28.2%	61	20.5%	39	12.8%	0	0.0%
保育園・幼稚園	427	44.9%	90	21.4%	335	63.4%	2	100.0%	19	5.6%	209	70.4%	199	65.2%	0	0.0%
保健所、保健センター	69	7.3%	48	11.4%	21	4.0%	0	0.0%	41	12.2%	16	5.4%	11	3.6%	1	8.3%
子育てサークルなど	15	1.6%	11	2.6%	4	0.8%	0	0.0%	11	3.3%	2	0.7%	2	0.7%	0	0.0%
子育て教室・講座	30	3.2%	18	4.3%	12	2.3%	0	0.0%	16	4.7%	4	1.3%	10	3.3%	0	0.0%
育児雑誌	117	12.3%	76	18.1%	41	7.8%	0	0.0%	74	22.0%	19	6.4%	22	7.2%	2	16.7%
子育て支援施設(りぼんかん・なかまっちなど)	34	3.6%	26	6.2%	8	1.5%	0	0.0%	21	6.2%	8	2.7%	4	1.3%	1	8.3%
その他	7	0.7%	5	1.2%	2	0.4%	0	0.0%	5	1.5%	1	0.3%	1	0.3%	0	0.0%
無回答	12	1.3%	8	1.9%	4	0.8%	0	0.0%	5	1.5%	5	1.7%	1	0.3%	1	8.3%

(充実して欲しい)

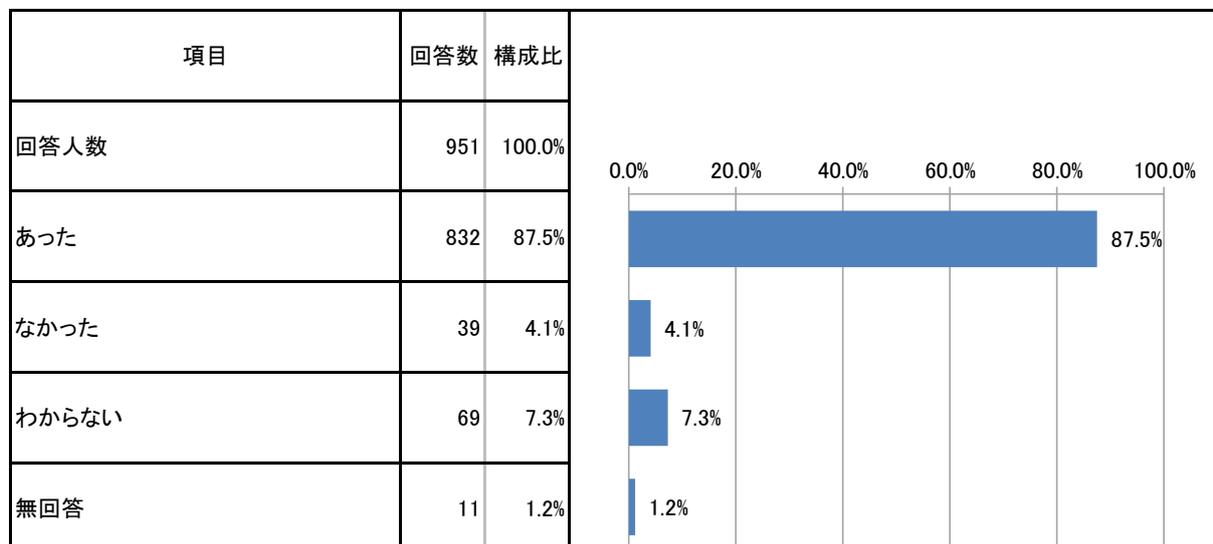
子どもの事故やけがの予防のために充実して欲しい情報源については、「保育園・幼稚園」が45.5%と最も高く、次いで「テレビ・ラジオ・新聞」が34.2%、「病院」が26.3%、「保健所・保健センター」が21.3%となっている。



問 12 問 11 の情報を収集した後、事故やけがに関して、あなた（保護者）は対象のお子さんに対する考え方や行動の変化はありましたか。（ひとつに○）

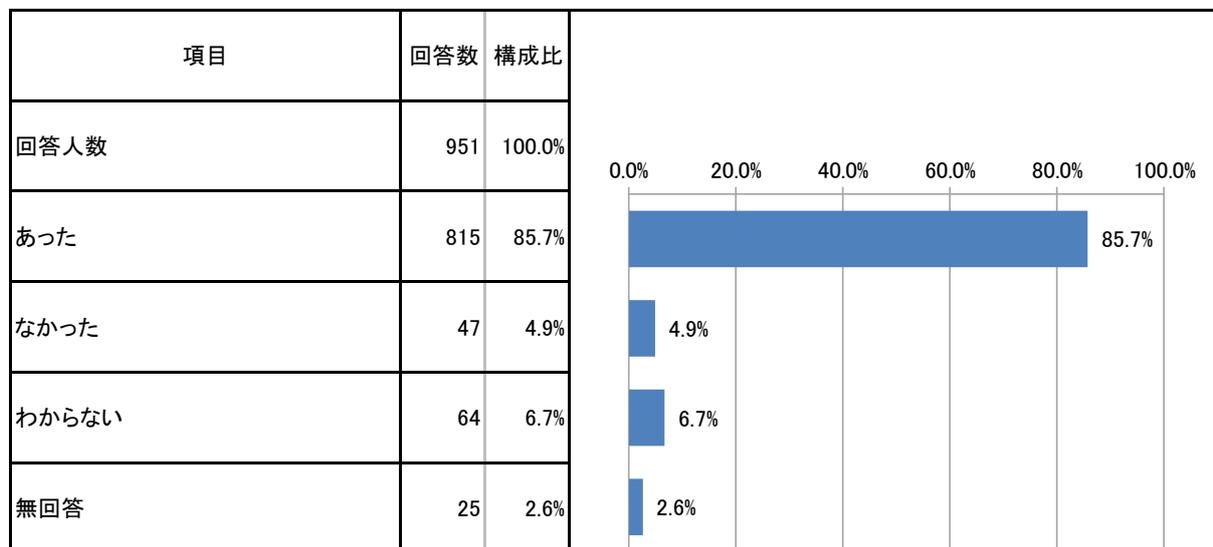
A 考え方の変化

情報収集後、子どもの事故やけがに関する保護者の考え方の変化については、「あった」が 87.5%と最も高く、次いで「わからない」が 7.3%、「なかった」が 4.1%となっている。



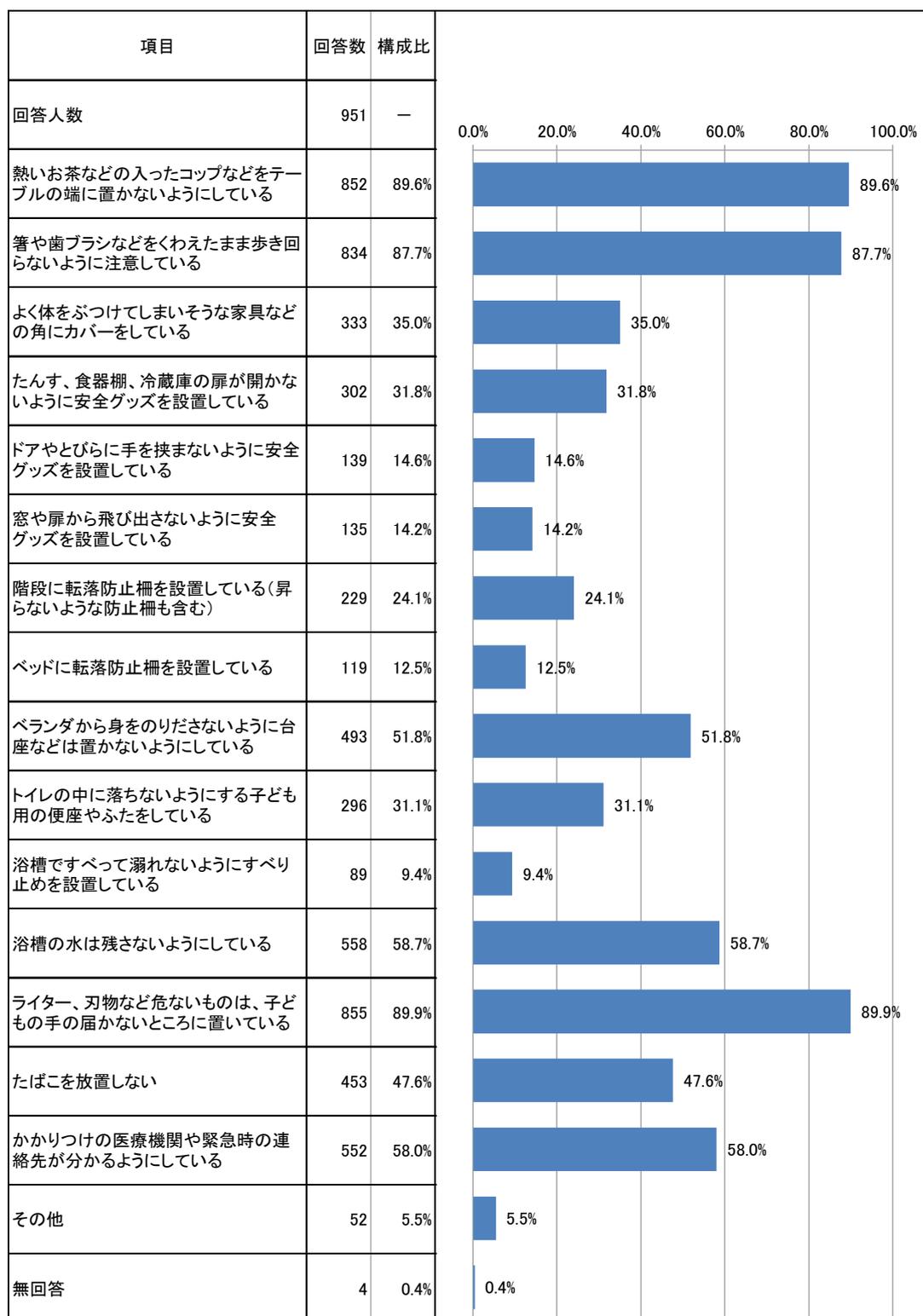
B 行動の変化

情報収集後、子どもの事故やけがに関する保護者の行動の変化については、「あった」が 85.7%と最も高く、次いで「わからない」が 6.7%、「なかった」が 4.9%となっている。



問 13 あなた(保護者)は、日頃からどのような子どもの安全対策をとっていますか。過去にとった対策についても、○をつけてください。

子どもの安全対策については、「ライター、刃物など危ないものは、子どもの手の届かないところに置いている」が 89.9%と最も高く、次いで「熱いお茶などの入ったコップなどをテーブルの端に置かないようにしている」が 89.6%、「箸や歯ブラシなどをくわえたまま歩き回らないように注意している」が 87.7%となっている。



## 【属性別特徴】

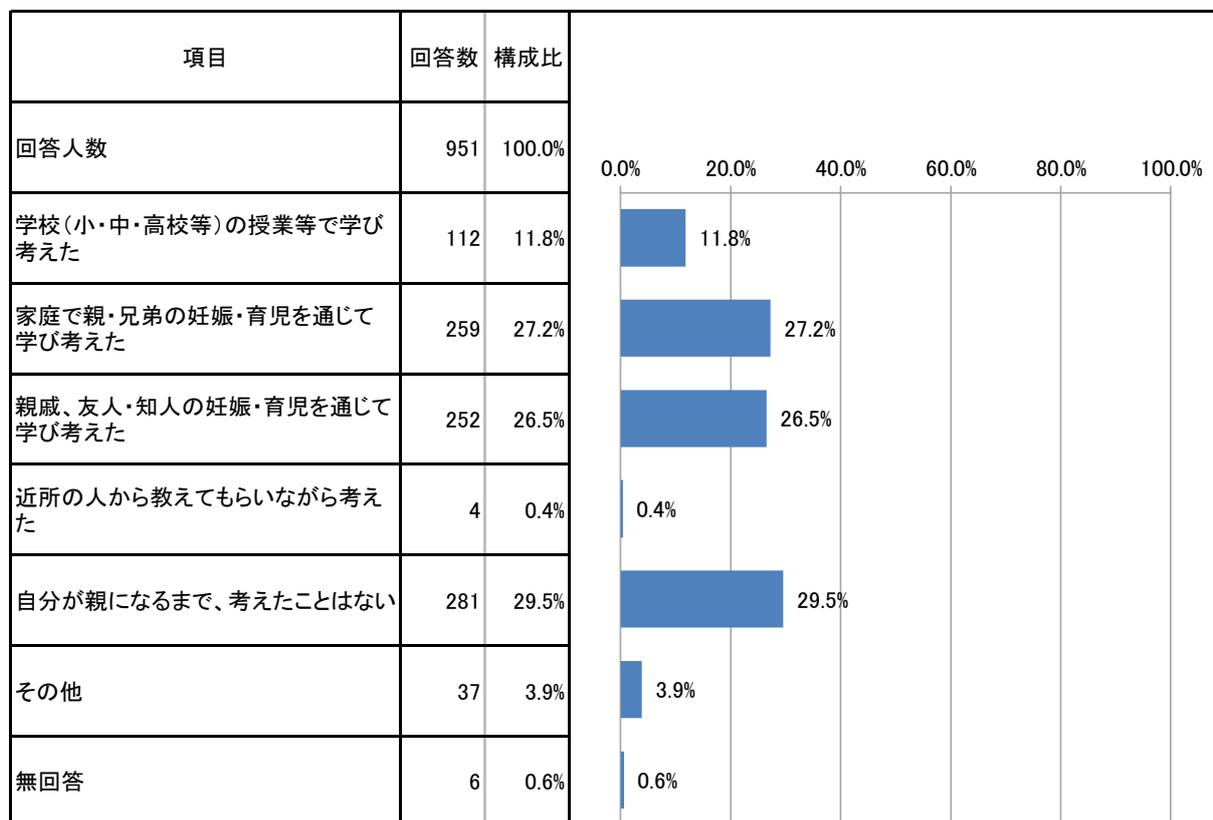
年齢別では、0歳は「熱いお茶などの入ったコップなどをテーブルの端に置かないようにしている」の割合が、1歳は「ライター、刃物など危ないものは、子どもの手の届かないところに置いている」の割合が最も高くなっている。

2歳以降は「箸や歯ブラシなどをくわえたまま歩き回らないように注意している」が高くなっている。

項目	回答人数		年齢別															
			0歳		1歳		2歳		3歳		4歳		5歳		6歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	951	—	144	—	135	—	142	—	129	—	153	—	162	—	84	—	2	—
熱いお茶などの入ったコップなどをテーブルの端に置かないようにしている	852	89.6%	128	88.9%	126	93.3%	130	91.5%	119	92.2%	135	88.2%	143	88.3%	70	83.3%	1	50.0%
箸や歯ブラシなどをくわえたまま歩き回らないように注意している	834	87.7%	78	54.2%	114	84.4%	136	95.8%	125	96.9%	145	94.8%	157	96.9%	77	91.7%	2	100.0%
よく体をぶつけてしまいそうな家具などの角にカバーをしている	333	35.0%	44	30.6%	50	37.0%	59	41.5%	43	33.3%	57	37.3%	56	34.6%	24	28.6%	0	0.0%
たんす、食器棚、冷蔵庫の扉が開かないように安全グッズを設置している	302	31.8%	32	22.2%	68	50.4%	67	47.2%	37	28.7%	43	28.1%	38	23.5%	17	20.2%	0	0.0%
ドアやとびらに手を挟まないように安全グッズを設置している	139	14.6%	18	12.5%	24	17.8%	26	18.3%	21	16.3%	23	15.0%	20	12.3%	7	8.3%	0	0.0%
窓や扉から飛び出さないように安全グッズを設置している	135	14.2%	13	9.0%	27	20.0%	33	23.2%	18	14.0%	22	14.4%	14	8.6%	8	9.5%	0	0.0%
階段に転落防止柵を設置している（昇らないような防止柵も含む）	229	24.1%	26	18.1%	45	33.3%	34	23.9%	32	24.8%	41	26.8%	31	19.1%	20	23.8%	0	0.0%
ベッドに転落防止柵を設置している	119	12.5%	32	22.2%	18	13.3%	10	7.0%	12	9.3%	21	13.7%	18	11.1%	8	9.5%	0	0.0%
ベランダから身をのりださないように台座などは置かないようにしている	493	51.8%	41	28.5%	65	48.1%	78	54.9%	78	60.5%	94	61.4%	94	58.0%	42	50.0%	1	50.0%
トイレの中に落ちないようにする子ども用の便座やふたをしている	296	31.1%	38	26.4%	46	34.1%	61	43.0%	52	40.3%	39	25.5%	43	26.5%	17	20.2%	0	0.0%
浴槽ですべて濡れないようにすべり止めを設置している	89	9.4%	10	6.9%	23	17.0%	17	12.0%	8	6.2%	12	7.8%	13	8.0%	6	7.1%	0	0.0%
浴槽の水は残さないようにしている	558	58.7%	64	44.4%	91	67.4%	95	66.9%	88	68.2%	93	60.8%	87	53.7%	39	46.4%	1	50.0%
ライター、刃物など危ないものは、子どもの手の届かないところに置いている	855	89.9%	126	87.5%	129	95.6%	127	89.4%	120	93.0%	139	90.8%	141	87.0%	71	84.5%	2	100.0%
たばこを放置しない	453	47.6%	68	47.2%	66	48.9%	72	50.7%	60	46.5%	75	49.0%	76	46.9%	34	40.5%	2	100.0%
かかりつけの医療機関や緊急時の連絡先が分かるようにしている	552	58.0%	90	62.5%	89	65.9%	88	62.0%	73	56.6%	84	54.9%	87	53.7%	40	47.6%	1	50.0%
その他	52	5.5%	12	8.3%	9	6.7%	5	3.5%	6	4.7%	8	5.2%	10	6.2%	2	2.4%	0	0.0%
無回答	4	0.4%	2	1.4%	1	0.7%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

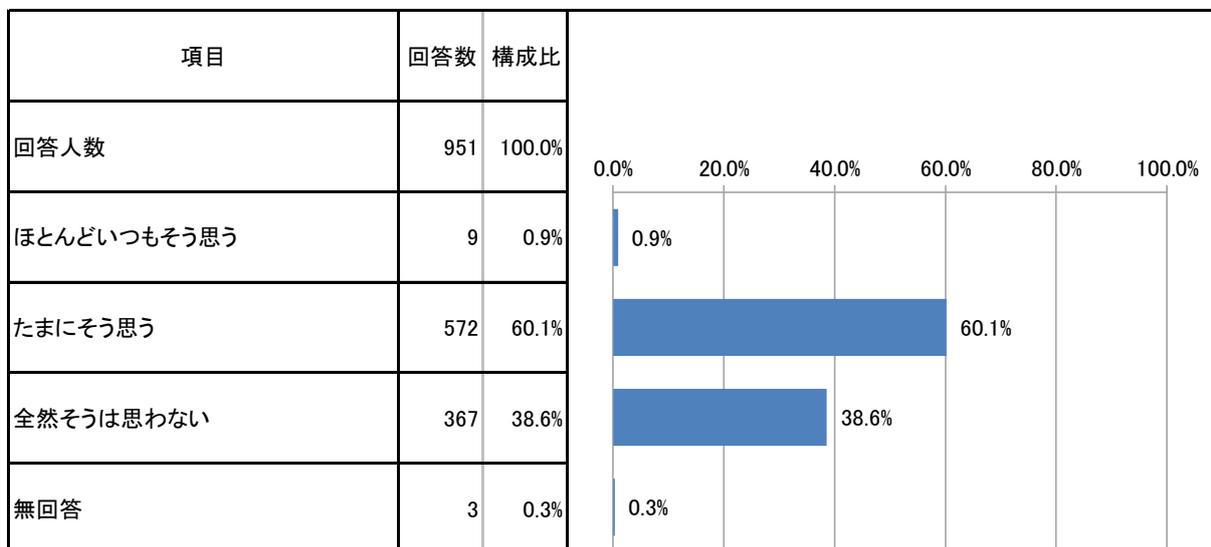
問 14 あなた（保護者）は、自分が親になる前に、妊娠や子どもを育てるということについて、考える機会がありましたか。ひとつに○)

保護者が親になる前に、妊娠や子どもを育てるということについて、考える機会があったかについては、「自分が親になるまで、考えたことはない」が 29.5%と最も高く、次いで「家庭で親・兄弟の妊娠・育児を通じて学び考えた」が 27.2%、「親戚、友人・知人の妊娠・育児を通じて学び考えた」が 26.5%となっている。



問 15 あなた（保護者）は、子どもに手をあげたくなったり、世話したくないと思うときがありますか。（ひとつに○）

保護者が子どもに手をあげたくなったり、世話したくないと思うときがあるかについては、「たまにそう思う」が 60.1%と最も高く、次いで「全然そうは思わない」が 38.6%、「ほとんどいつもそう思う」が 0.9%となっている。



【属性別特徴】

性別では、大きな差異はみられない。

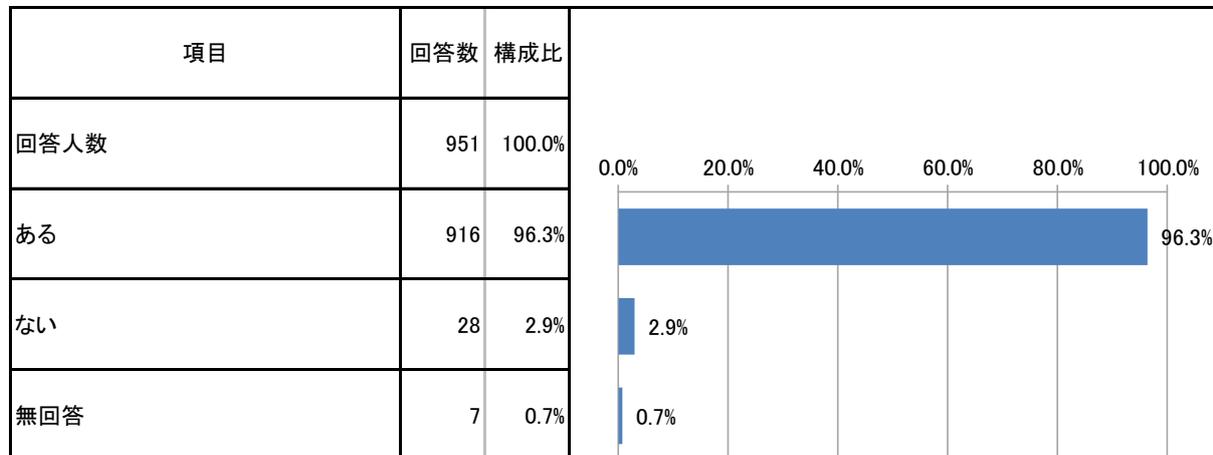
年齢別では、0歳は「全然そうは思わない」が66.7%と最も高く、1歳は「たまにそう思う」が48.9%、「全然そうは思わない」が48.1%と同程度であり、2歳以降は、「たまにそう思う」が最も高く、6割から7割を占めている。

項目	回答人数		性別					
			男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	951	100.0%	484	100.0%	461	100.0%	6	100.0%
ほとんどいつもそう思う	9	0.9%	5	1.0%	4	0.9%	0	0.0%
たまにそう思う	572	60.1%	299	61.8%	269	58.4%	4	66.7%
全然そうは思わない	367	38.6%	178	36.8%	187	40.6%	2	33.3%
無回答	3	0.3%	2	0.4%	1	0.2%	0	0.0%

項目	回答人数		年齢別															
			0歳		1歳		2歳		3歳		4歳		5歳		6歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	951	100.0%	144	100.0%	135	100.0%	142	100.0%	129	100.0%	153	100.0%	162	100.0%	84	100.0%	2	100.0%
ほとんどいつもそう思う	9	0.9%	0	0.0%	3	2.2%	1	0.7%	1	0.8%	0	0.0%	4	2.5%	0	0.0%	0	0.0%
たまにそう思う	572	60.1%	48	33.3%	66	48.9%	100	70.4%	83	64.3%	102	66.7%	119	73.5%	53	63.1%	1	50.0%
全然そうは思わない	367	38.6%	96	66.7%	65	48.1%	41	28.9%	45	34.9%	50	32.7%	39	24.1%	30	35.7%	1	50.0%
無回答	3	0.3%	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%	1	1.2%	0	0.0%

問 16 あなた（保護者）は、子育てで困ったときに相談する人や施設がありますか。  
（ひとつに○）

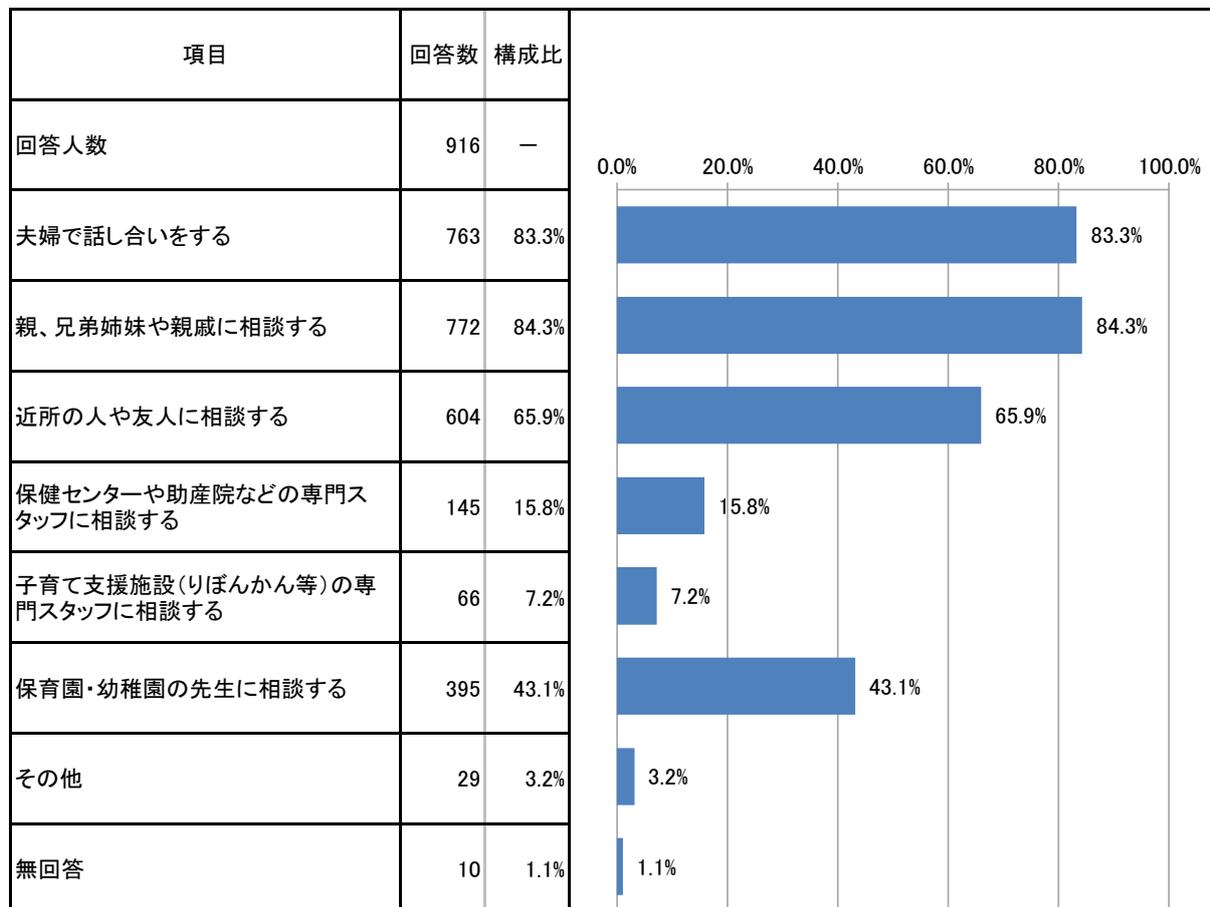
保護者が子育てで困ったときの相談先については、「ある」が 96.3%、「ない」が 2.9%となっている。



※問 16 で『①ある』とご回答された方にお聞きします。

問 17 子育てで困ったとき、誰（又はどこ）に相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

保護者が子育てで困ったときの相談先については、「親、兄弟姉妹や親戚に相談する」が 84.3%と最も高く、次いで「夫婦で話し合いをする」が 83.3%、「近所の人や友人に相談する」が 65.9%となっている。



【乳幼児】

【属性別特徴】

年齢別では、全年齢において「夫婦で話し合いをする」「親、兄弟姉妹や親戚に相談する」の割合が7割から9割と高くなっている。

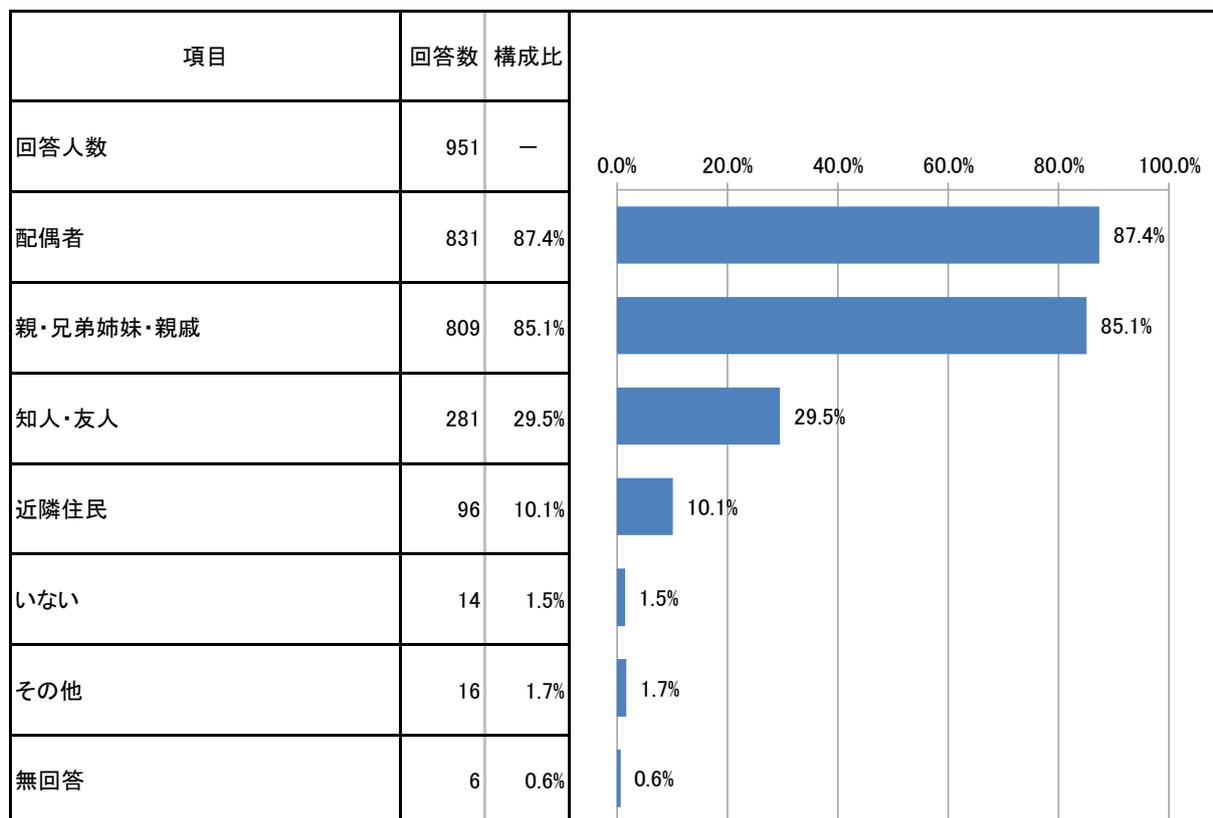
また、年齢が高くなるにつれて、「保育園・幼稚園の先生に相談する」の割合が高くなる傾向にある。

項目	回答人数		年齢別															
			0歳		1歳		2歳		3歳		4歳		5歳		6歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	916	—	138	—	133	—	136	—	123	—	147	—	156	—	81	—	2	—
夫婦で話し合いをする	763	83.3%	125	90.6%	112	84.2%	116	85.3%	104	84.6%	120	81.6%	122	78.2%	62	76.5%	2	100.0%
親、兄弟姉妹や親戚に相談する	772	84.3%	124	89.9%	122	91.7%	114	83.8%	103	83.7%	112	76.2%	130	83.3%	65	80.2%	2	100.0%
近所の人や友人に相談する	604	65.9%	88	63.8%	93	69.9%	89	65.4%	77	62.6%	98	66.7%	99	63.5%	60	74.1%	0	0.0%
保健センターや助産院などの専門スタッフに相談する	145	15.8%	37	26.8%	31	23.3%	17	12.5%	15	12.2%	25	17.0%	14	9.0%	6	7.4%	0	0.0%
子育て支援施設(りぼんかん等)の専門スタッフに相談する	66	7.2%	18	13.0%	13	9.8%	13	9.6%	10	8.1%	6	4.1%	3	1.9%	3	3.7%	0	0.0%
保育園・幼稚園の先生に相談する	395	43.1%	24	17.4%	34	25.6%	50	36.8%	64	52.0%	80	54.4%	91	58.3%	50	61.7%	2	100.0%
その他	29	3.2%	2	1.4%	7	5.3%	5	3.7%	1	0.8%	2	1.4%	11	7.1%	1	1.2%	0	0.0%
無回答	10	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	2.4%	2	1.4%	3	1.9%	2	2.5%	0	0.0%

## 問 18 子育て中の親への支援についてお聞きします。

## 問 18-1 あなた（保護者）の子育てを手伝ってくれる人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

保護者の子育てを手伝ってくれる人については、「配偶者」が 87.4%と最も高く、次いで「親・兄弟姉妹・親戚」が 85.1%、「知人・友人」が 29.5%となっている。



【乳幼児】

【属性別特徴】

年齢別では、3歳以上の「知人・友人」が33.9%で、2歳以下の24.2%に比べてやや高くなっている。

就園状況別では、幼稚園児の「知人・友人」が40.0%で、未就園児の26.7%、保育園児の22.9%に比べて高くなっている。

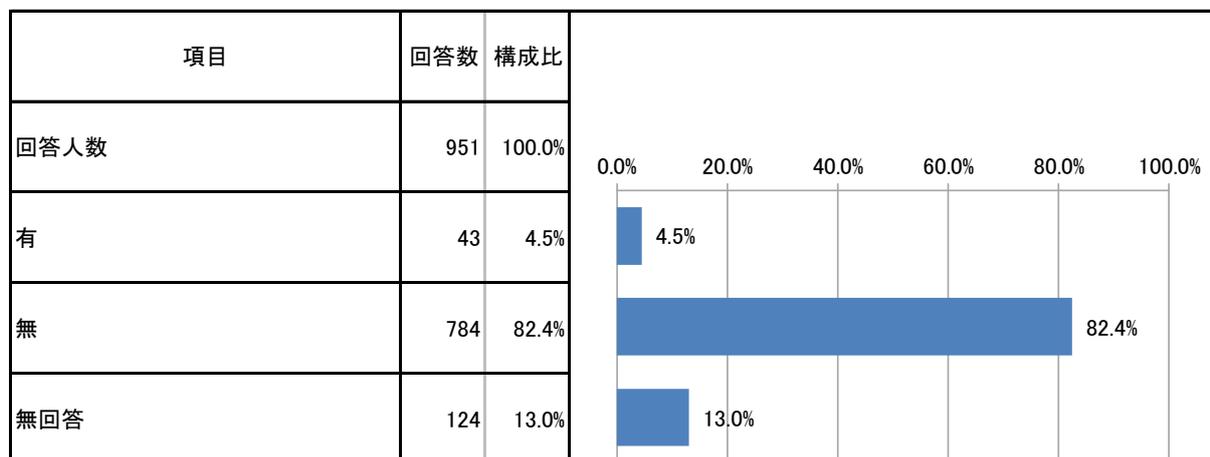
項目	回答人数		年齢別						就園状況別							
			2歳以下		3歳以上		無回答		未就園児		保育園児		幼稚園児		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	951	-	421	-	528	-	2	-	337	-	297	-	305	-	12	-
配偶者	831	87.4%	380	90.3%	449	85.0%	2	100.0%	307	91.1%	236	79.5%	276	90.5%	12	100.0%
親・兄弟姉妹・親戚	809	85.1%	362	86.0%	445	84.3%	2	100.0%	291	86.4%	256	86.2%	251	82.3%	11	91.7%
知人・友人	281	29.5%	102	24.2%	179	33.9%	0	0.0%	90	26.7%	68	22.9%	122	40.0%	1	8.3%
近隣住民	96	10.1%	23	5.5%	73	13.8%	0	0.0%	21	6.2%	26	8.8%	48	15.7%	1	8.3%
いない	14	1.5%	6	1.4%	8	1.5%	0	0.0%	5	1.5%	8	2.7%	1	0.3%	0	0.0%
その他	16	1.7%	7	1.7%	9	1.7%	0	0.0%	6	1.8%	4	1.3%	5	1.6%	1	8.3%
無回答	6	0.6%	3	0.7%	3	0.6%	0	0.0%	1	0.3%	3	1.0%	2	0.7%	0	0.0%

問 18-2 あなた（保護者）は、子どもの一時預かりの施設等を利用したことがありますか。（AからDの項目ごとにひとつに○）

A ファミリー・サポート・センターの育児支援

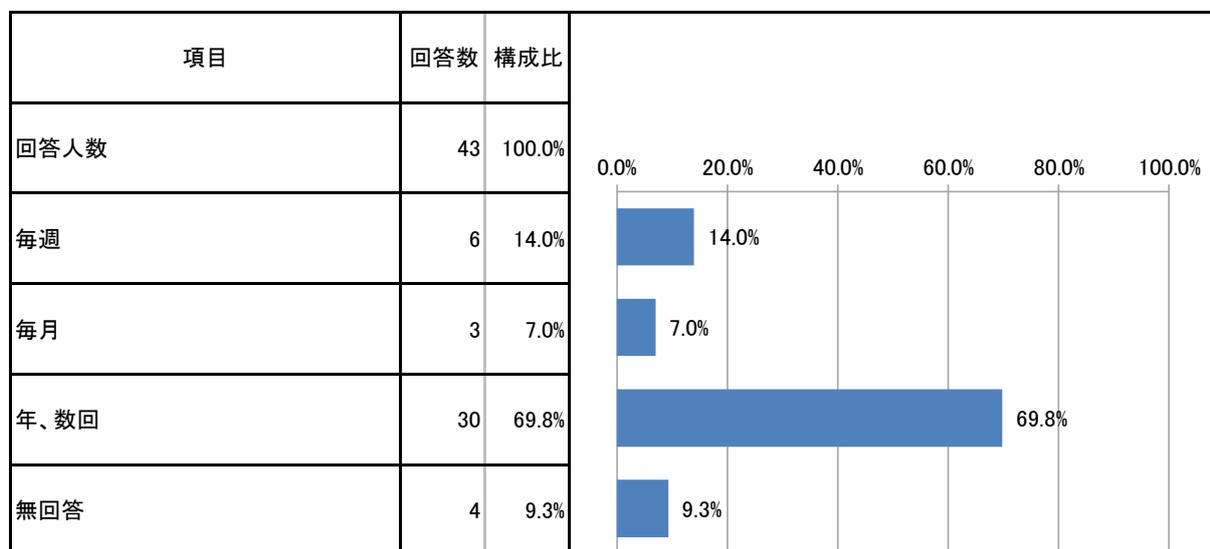
(1) 利用の有無

ファミリー・サポート・センターの育児支援の利用の有無については、「有」が4.5%、「無」が82.4%となっている。



(2) 利用頻度

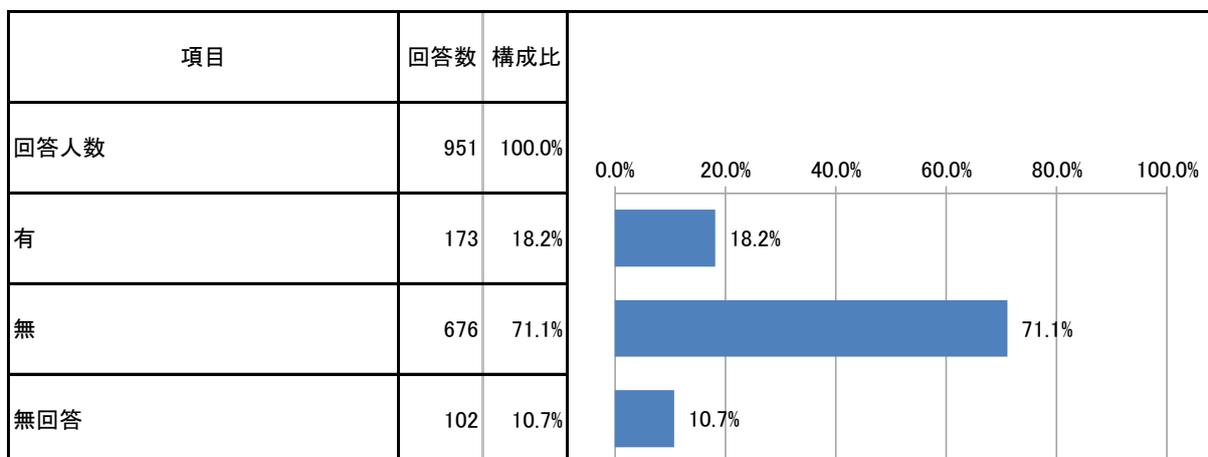
ファミリー・サポート・センターの育児支援の利用頻度については、「年、数回」が69.8%と最も高く、次いで「毎週」が14.0%、「毎月」が7.0%となっている。



B 保育園の一時預かり

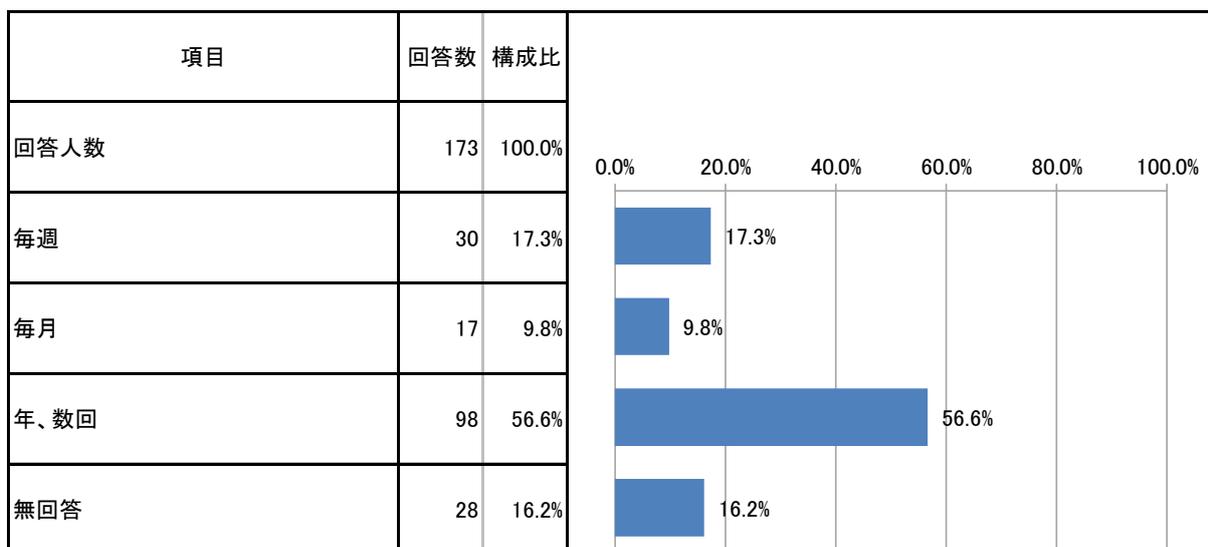
(1) 利用の有無

保育園の一時預かりの利用の有無については、「有」が18.2%、「無」が71.1%となっている。



(2) 利用頻度

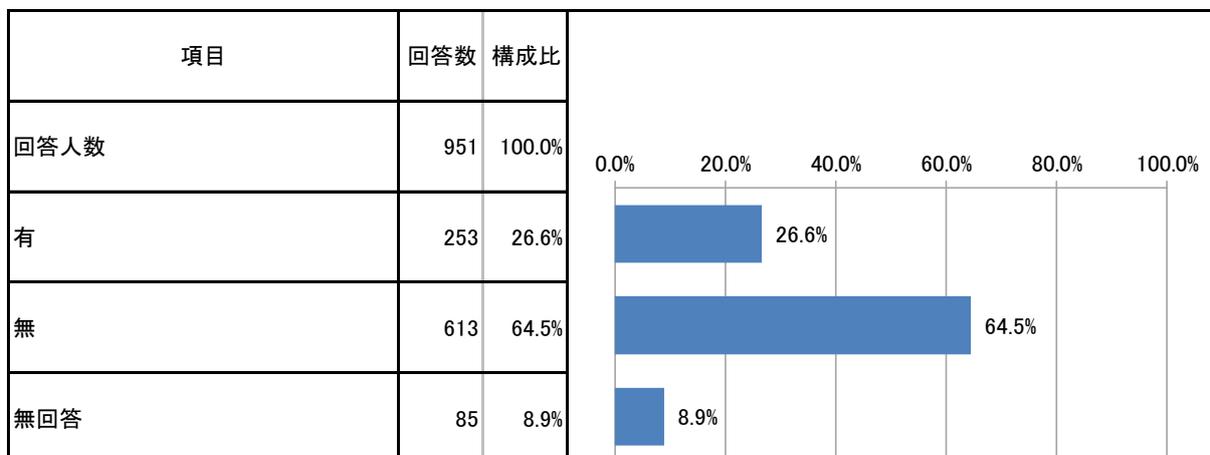
保育園の一時預かりの利用頻度については、「年、数回」が56.6%と最も高く、次いで「毎週」が17.3%、「毎月」が9.8%となっている。



C 幼稚園の預かり保育

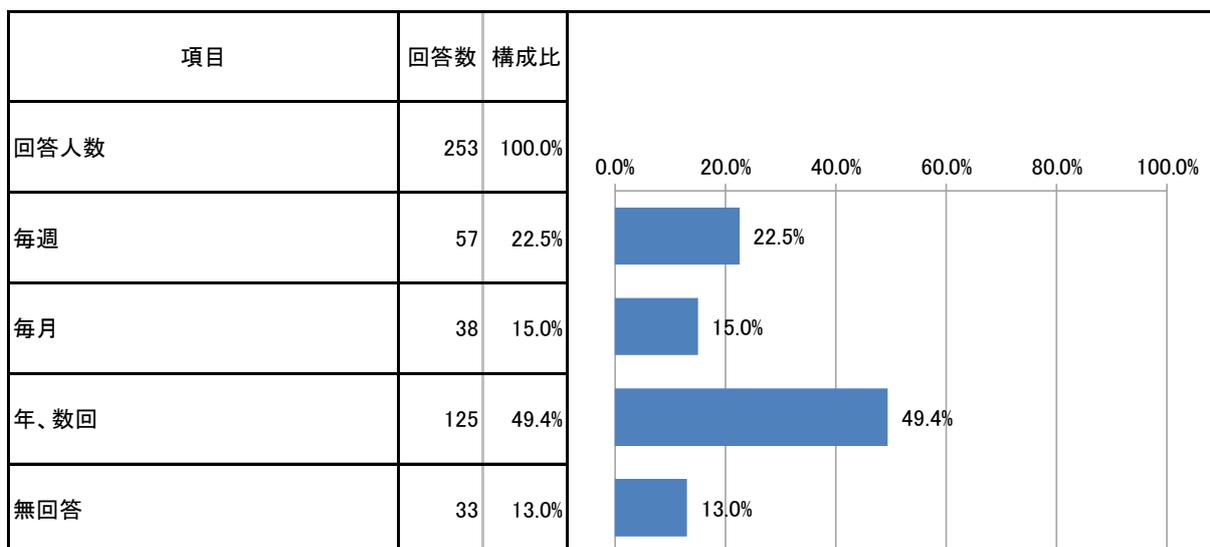
(1) 利用の有無

幼稚園の預かり保育の利用の有無については、「有」が26.6%、「無」が64.5%となっている。



(2) 利用頻度

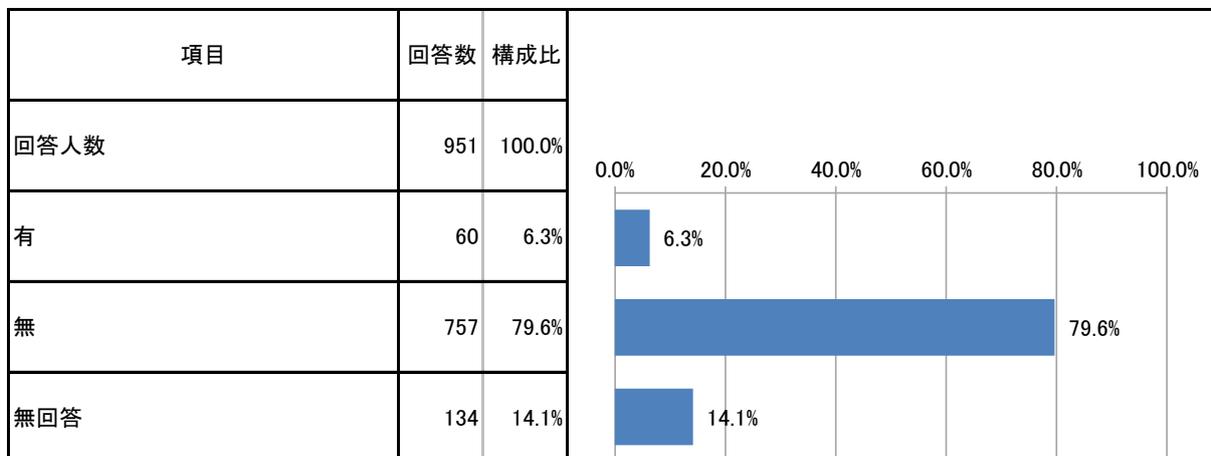
幼稚園の預かり保育の利用頻度については、「年、数回」が49.4%と最も高く、次いで「毎週」が22.5%、「毎月」が15.0%となっている。



D すこやか子育て交流館（りぼんかん）の一時預かり

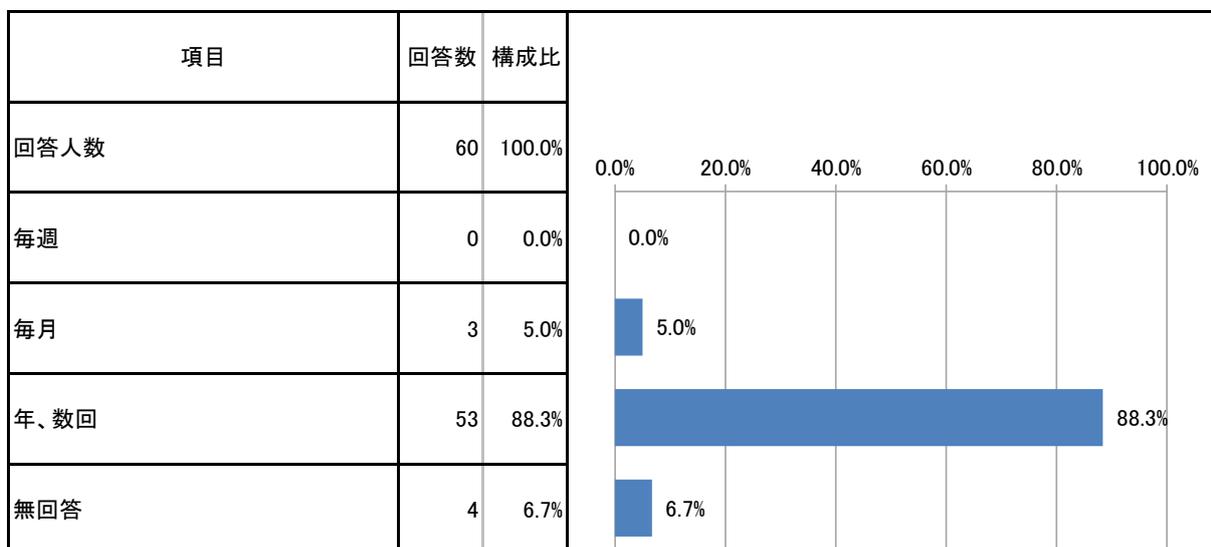
(1) 利用の有無

すこやか子育て交流館（りぼんかん）の一時預かりの利用の有無については、「有」が6.3%、「無」が79.6%となっている。



(2) 利用頻度

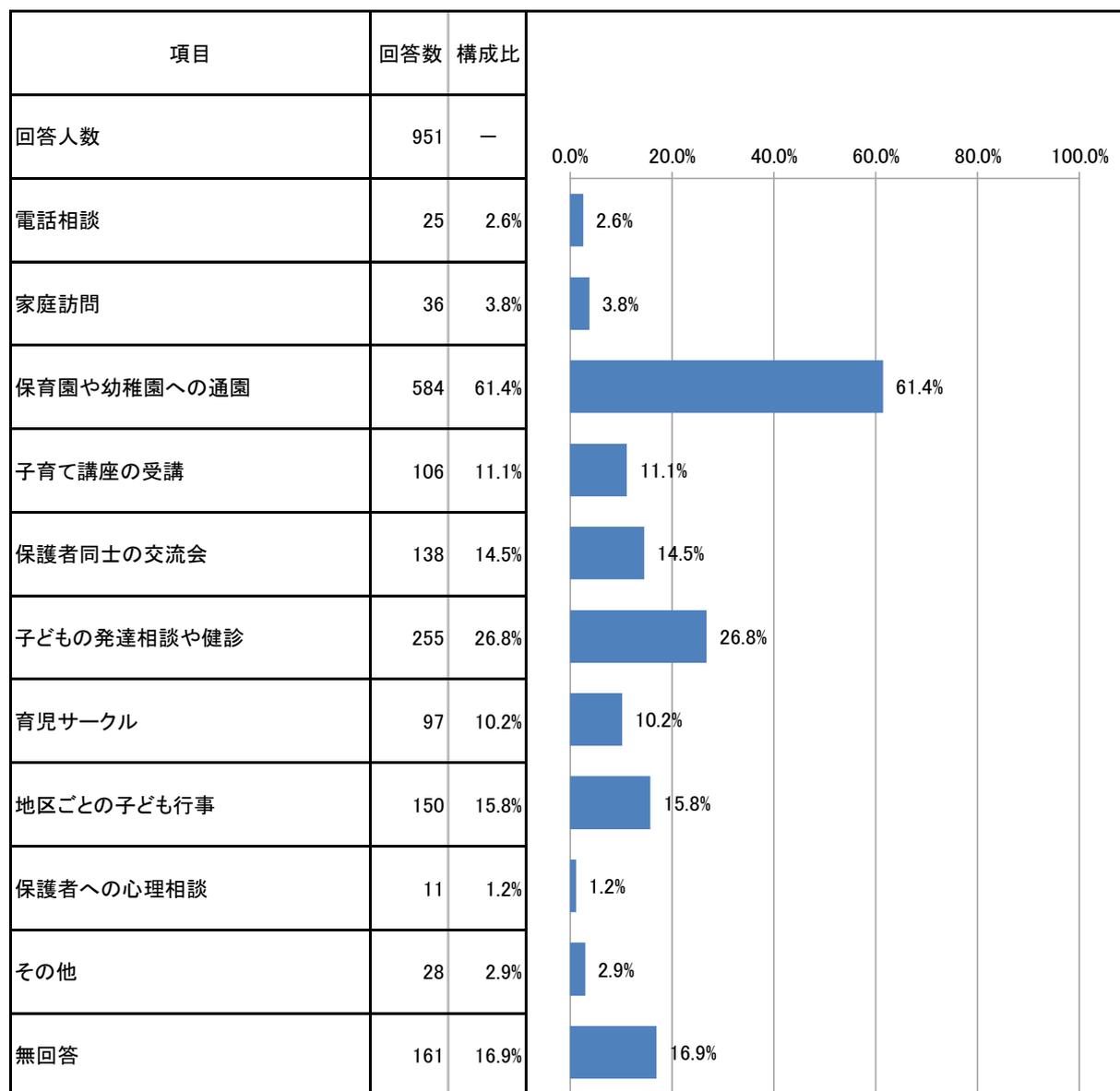
すこやか子育て交流館（りぼんかん）の一時預かりの利用頻度については、「年、数回」が88.3%、「毎月」が5.0%となっている。



問19 あなた（保護者）は、どのような子育て支援を活用していますか。また、どのような子育て支援があればいいと考えていますか。（最も希望するもの3つに○）

（現在活用している）

保護者の子育て支援の活用状況については、「保育園や幼稚園への通園」が61.4%と最も高く、次いで「子どもの発達相談や健診」が26.8%、「地区ごとの子ども行事」が15.8%、「保護者同士の交流会」が14.5%となっている。



【乳幼児】

【属性別特徴】

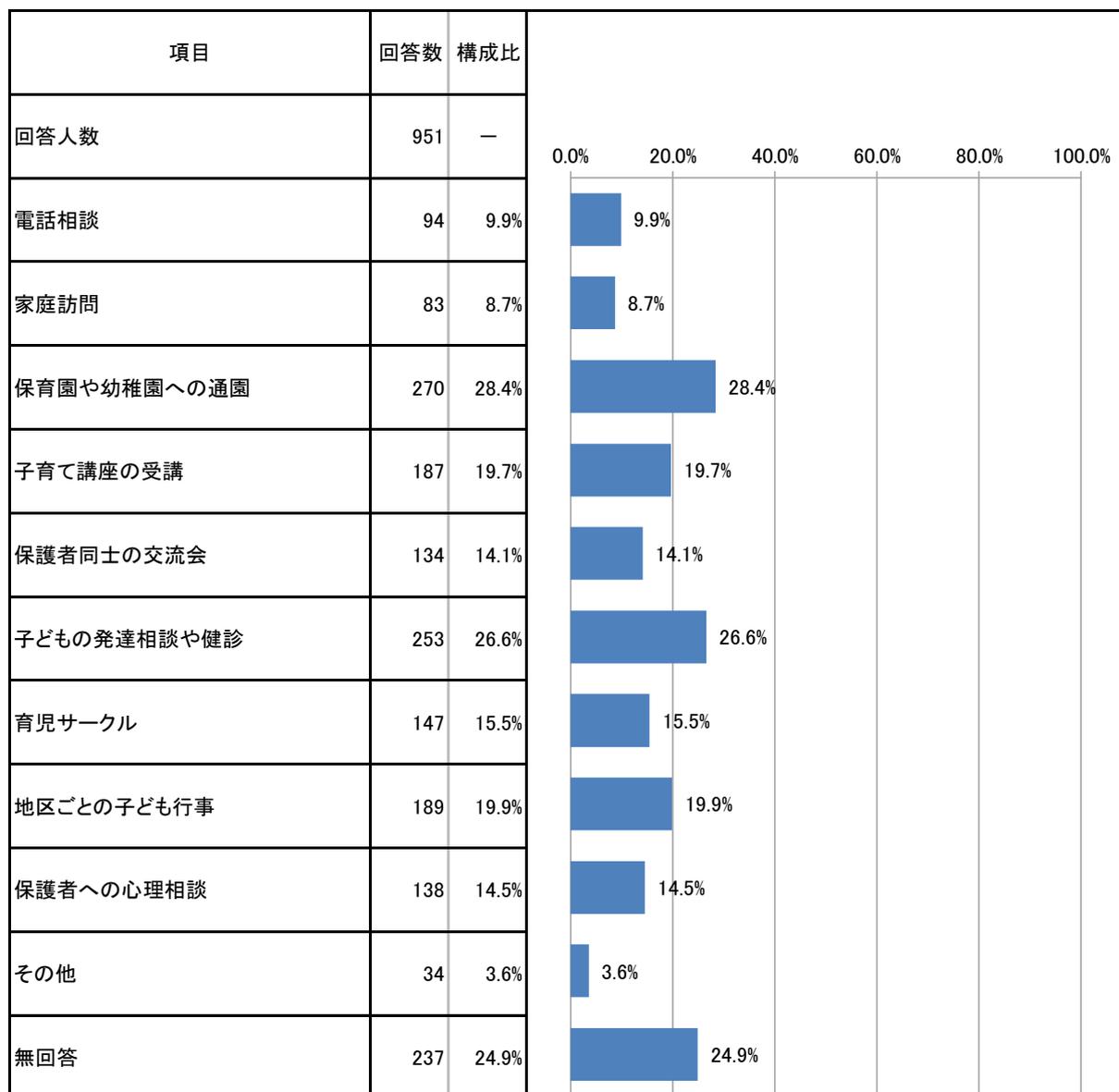
年齢別では、3歳以上の「保育園や幼稚園への通園」が82.4%で、2歳以下の35.2%に比べて高くなっている。

就園状況別では、未就園児の「子育て講座の受講」「子どもの発達相談や健診」「育児サークル」の割合が、保育園児、幼稚園児に比べて高くなっている。

項目	回答人数		年齢別						就園状況別							
			2歳以下		3歳以上		無回答		未就園児		保育園児		幼稚園児		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	951	-	421	-	528	-	2	-	337	-	297	-	305	-	12	-
電話相談	25	2.6%	16	3.8%	9	1.7%	0	0.0%	13	3.9%	5	1.7%	6	2.0%	1	8.3%
家庭訪問	36	3.8%	23	5.5%	13	2.5%	0	0.0%	23	6.8%	5	1.7%	7	2.3%	1	8.3%
保育園や幼稚園への通園	584	61.4%	148	35.2%	435	82.4%	1	50.0%	51	15.1%	261	87.9%	269	88.2%	3	25.0%
子育て講座の受講	106	11.1%	69	16.4%	37	7.0%	0	0.0%	60	17.8%	19	6.4%	26	8.5%	1	8.3%
保護者同士の交流会	138	14.5%	41	9.7%	97	18.4%	0	0.0%	34	10.1%	29	9.8%	75	24.6%	0	0.0%
子どもの発達相談や健診	255	26.8%	140	33.3%	115	21.8%	0	0.0%	115	34.1%	76	25.6%	62	20.3%	2	16.7%
育児サークル	97	10.2%	66	15.7%	31	5.9%	0	0.0%	66	19.6%	11	3.7%	20	6.6%	0	0.0%
地区ごとの子ども行事	150	15.8%	38	9.0%	112	21.2%	0	0.0%	33	9.8%	42	14.1%	74	24.3%	1	8.3%
保護者への心理相談	11	1.2%	4	1.0%	7	1.3%	0	0.0%	4	1.2%	4	1.3%	3	1.0%	0	0.0%
その他	28	2.9%	15	3.6%	13	2.5%	0	0.0%	16	4.7%	4	1.3%	8	2.6%	0	0.0%
無回答	161	16.9%	108	25.7%	52	9.8%	1	50.0%	110	32.6%	27	9.1%	16	5.2%	8	66.7%

(充実して欲しい)

充実して欲しい子育て支援については、「保育園や幼稚園への通園」が 28.4%と最も高く、次いで「子どもの発達相談や健診」が 26.6%、「地区ごとの子ども行事」が 19.9%、「子育て講座の受講」が 19.7%となっている。



## 【属性別特徴】

年齢別では、2歳以下の「子どもの発達相談や健診」が29.9%で、3歳以上の23.3%に比べてやや高くなっている。

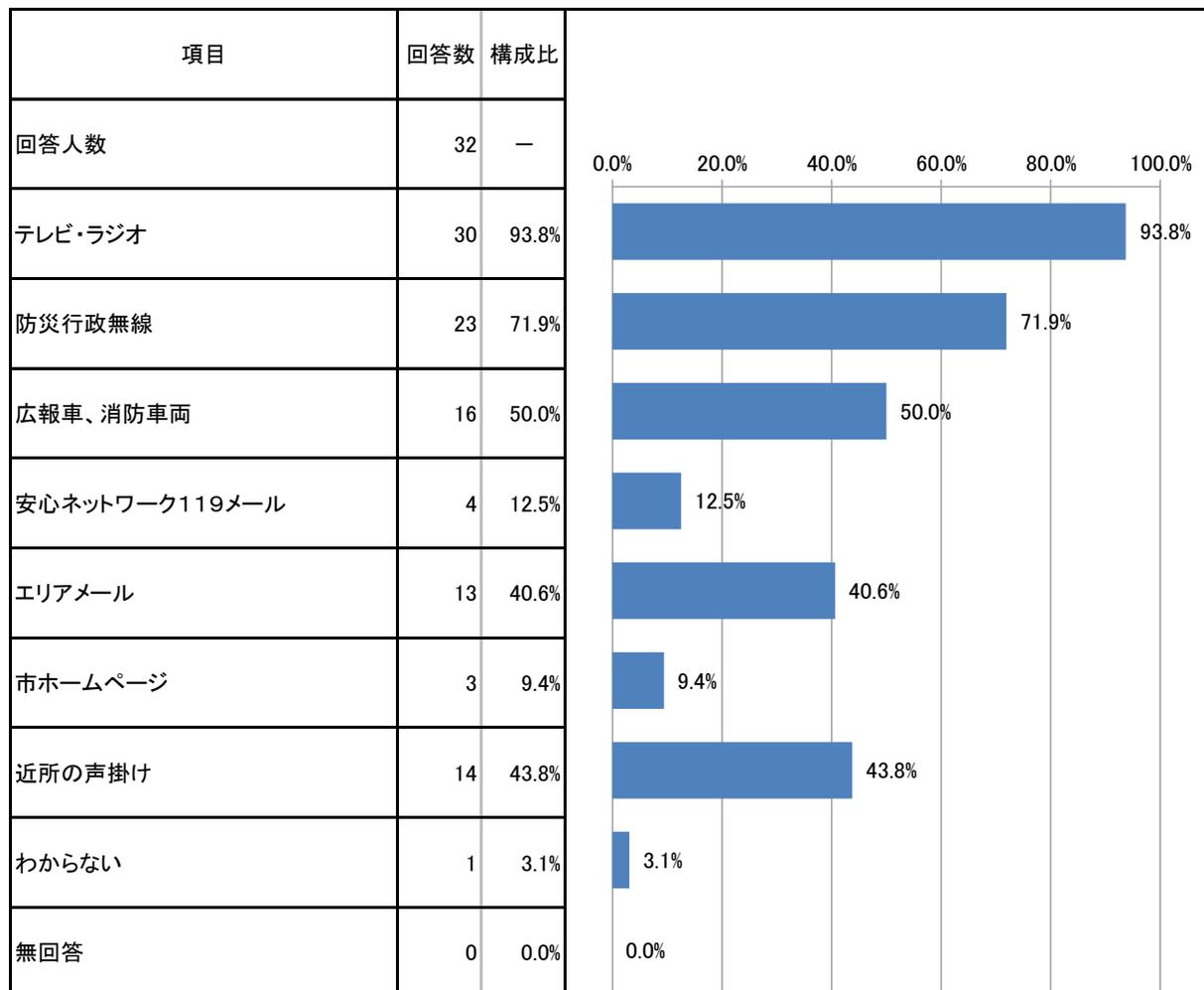
就園状況別では、未就園児、保育園児、幼稚園児の「保育園や幼稚園への通園」が、それぞれ28.5%、28.3%、29.2%と、いずれの就園状況においても高い割合を示している。

項目	回答人数		年齢別						就園状況別							
			2歳以下		3歳以上		無回答		未就園児		保育園児		幼稚園児		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	951	—	421	—	528	—	2	—	337	—	297	—	305	—	12	—
電話相談	94	9.9%	46	10.9%	48	9.1%	0	0.0%	28	8.3%	23	7.7%	43	14.1%	0	0.0%
家庭訪問	83	8.7%	45	10.7%	38	7.2%	0	0.0%	43	12.8%	17	5.7%	21	6.9%	2	16.7%
保育園や幼稚園への通園	270	28.4%	134	31.8%	135	25.6%	1	50.0%	96	28.5%	84	28.3%	89	29.2%	1	8.3%
子育て講座の受講	187	19.7%	97	23.0%	89	16.9%	1	50.0%	78	23.1%	50	16.8%	58	19.0%	1	8.3%
保護者同士の交流会	134	14.1%	71	16.9%	62	11.7%	1	50.0%	41	12.2%	52	17.5%	40	13.1%	1	8.3%
子どもの発達相談や健診	253	26.6%	126	29.9%	123	23.3%	4	200.0%	98	29.1%	81	27.3%	74	24.3%	0	0.0%
育児サークル	147	15.5%	75	17.8%	70	13.3%	2	100.0%	73	21.7%	35	11.8%	36	11.8%	3	25.0%
地区ごとの子ども行事	189	19.9%	96	22.8%	93	17.6%	0	0.0%	69	20.5%	56	18.9%	63	20.7%	1	8.3%
保護者への心理相談	138	14.5%	68	16.2%	67	12.7%	3	150.0%	41	12.2%	44	14.8%	52	17.0%	1	8.3%
その他	34	3.6%	14	3.3%	20	3.8%	0	0.0%	13	3.9%	8	2.7%	13	4.3%	0	0.0%
無回答	237	24.9%	121	28.7%	114	21.6%	2	100.0%	80	23.7%	80	26.9%	71	23.3%	6	50.0%

※問 20～22 は桜島にお住まいの方（保護者）への質問です。

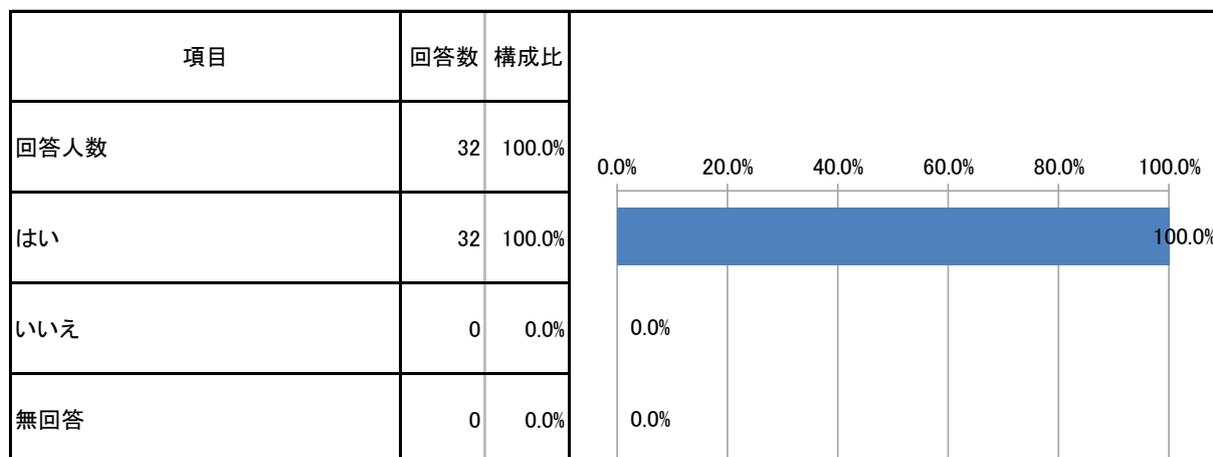
**問 20 桜島の大噴火時には、市役所から避難情報を広報します。避難情報などの情報は何で収集しますか。（あてはまるものすべてに○）**

避難情報などの情報収集方法については、「テレビ・ラジオ」が93.8%と最も高く、次いで「防災行政無線」が71.9%、「広報車、消防車両」が50.0%となっている。



問 21 避難情報は、消防局等から携帯電話のメール(安心ネットワーク119メール)を通じて広報しますが、携帯電話をお持ちですか。(ひとつに○)

携帯電話を持っているかについては、「はい」が100.0%となっている。



問 22 「避難勧告」が出された場合、避難港へ避難して「家族カード」を提出することとなっていますが、「避難勧告」が出される前に自主的に避難する場合、避難したことを地域の方などにどのように伝えようと考えていますか。(ひとつに○)

「避難勧告」が出される前に、自主的に避難する場合、避難したことの周囲への伝達方法については、「わからない」が50.0%と最も高く、次いで「近所の人へ事前避難することを伝える(家族カードを預ける)」が28.1%、「消防団員へ事前避難することを伝える(家族カードを預ける)」が9.4%となっている。

